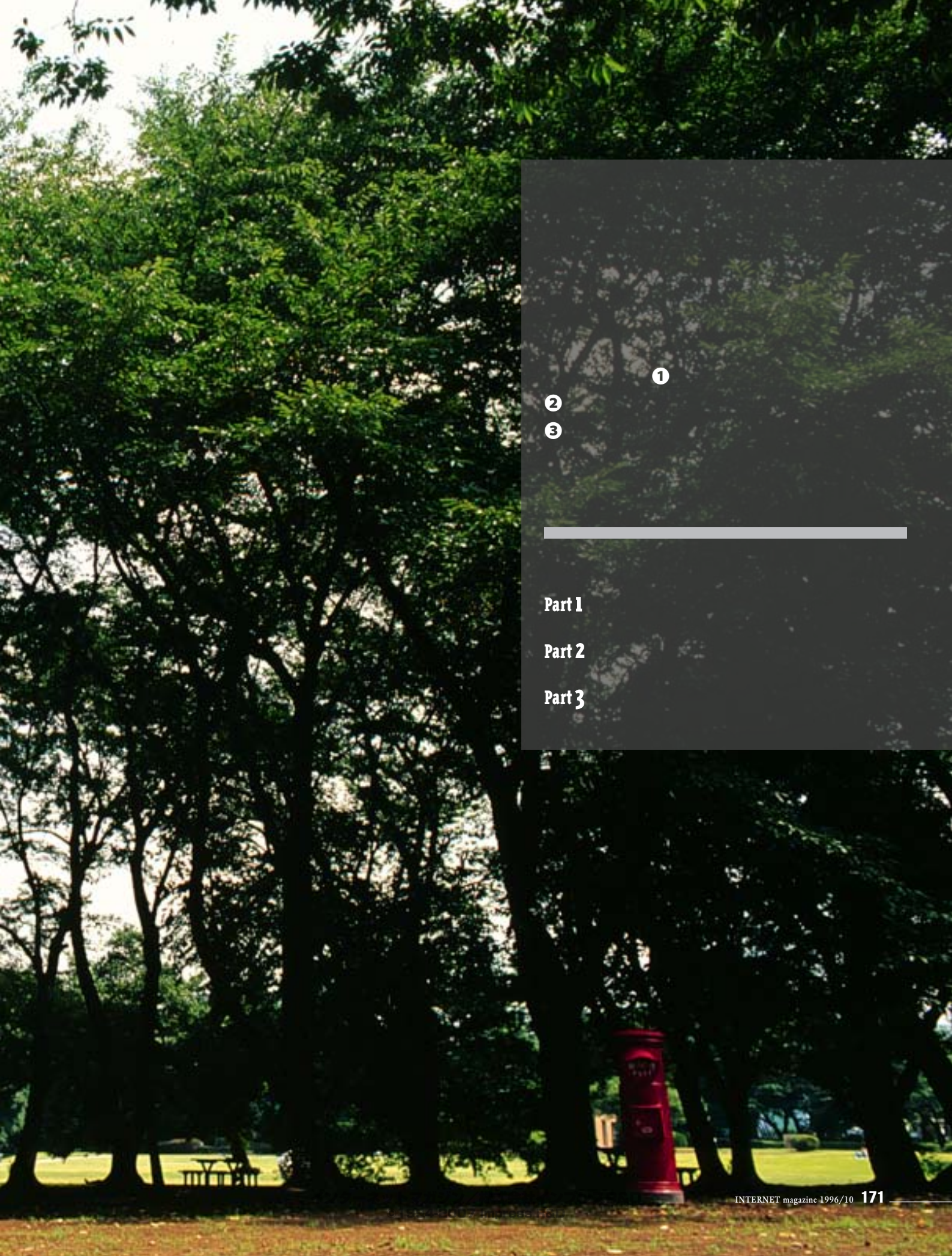


【特集】

インターネット基本の基本

電子メール自由自在



インターネットにつながって、最も暮らしに役立つものは電子メールだ。知人と連絡をとるのも、雑誌の購読を申し込むのも、誰かに仕事の依頼を持ちかけるのも、すべて電子メールを使えば快適なコミュニケーションができるようになる。しかし、さまざまなコンピュータがつながったインターネットでは、社内メールやパソコン通信にはないトラブルも多い。

この特集では、①初めて電子メールソフトを導入し、②文字と画像を失敗せずにやりとりして、さらに③必需品として使いこなせるようになるまでに必要なステップをナビゲーションする。

解説 / いとうくにお、菊地宏明、編集部

イントロダクション

とても便利なインターネットの電子メール

Part 1

基本ツール編 - 電子メールソフトの機能と使い方

Part 2

トラブルシューティング編 - 失敗だらけのメールを卒業する

Part 3

ステップアップ編 - 手放せなくなったら使い始める機能



とても便利な インターネットの 電子メール e-mail

宛先はメールアドレス

プロバイダーに加入してメールアドレスが発行されると、あなたは初めてインターネットの利用者となり、電子メールを使うことができるようになる。電話やFAXがあると使いたくなるように、まずは簡単なメッセージを書いて誰かに送りたくなるだろう。宛先はもらった名刺に刷り込まれたメールアドレスだ。

メールアドレスは、[その人を現すユーザーネーム]@[その人が所属する組織や国を現すドメインネーム]という2つの部分から構成されている(図1)。このシンプルなアドレスを指定するだけで、百数十か国にいるインターネット利用者の誰かに、今すぐメールを届けることができる。遠いところでも瞬時に届くのが、電子メールの最大の特徴だ。

複数のコンピュータを経由して届く

では、インターネットのメールは、どんなし

図1 メールアドレス



くみで届くのだろうか。

インターネットのメールを処理する郵便局は、「メールサーバー」と呼ばれている。その実体は、あなたが入っているプロバイダーのコンピュータや、専用線でインターネットにつながっている会社や学校のコンピュータである。プロバイダーに入会すると、プロバイダーが持つメールサーバーにあなたの私書箱(POPサーバー)を置くことができる。そして、その私書箱を開ける鍵(POPアカウント)を手にする。メールを出すときは、メールサーバーに置かれたポスト(SMTPサーバー)に投函する。鍵を使って

自分宛てのメールを取りに行ったり書いたメールをポストへ投函したりする仕事は、パソコン上の電子メールソフトが代行してくれる。SMTPサーバーから送り出されたメールはインターネット上のいくつかのルーターを経由して運ばれ、相手の私書箱があるメールサーバーに届けられる。

1対1だけではない

電子メールは相手と同じ時間に向き合わなくても自分の好きなときにメッセージを書いたり

図2 インターネットメール配送のしくみ

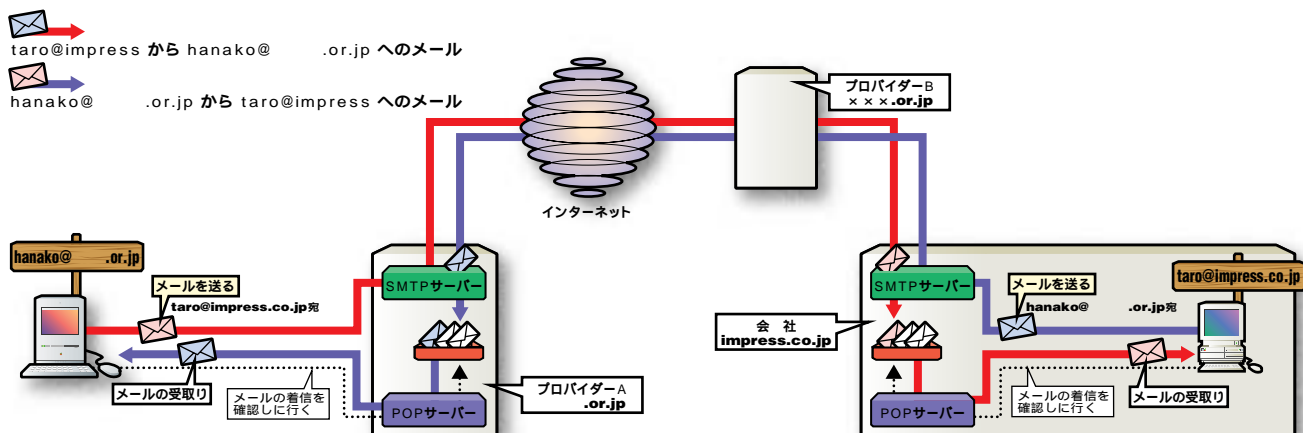


図3 送信メールの基本画面

表 題

1通ごとに内容がわかる表題 (Subject) を付ける。

同報配信

一度の送信で複数の人に同じ文書を送ることができる。

署 名

本文の最後には個人の「署名」を入れる習慣がある。

添付ファイル

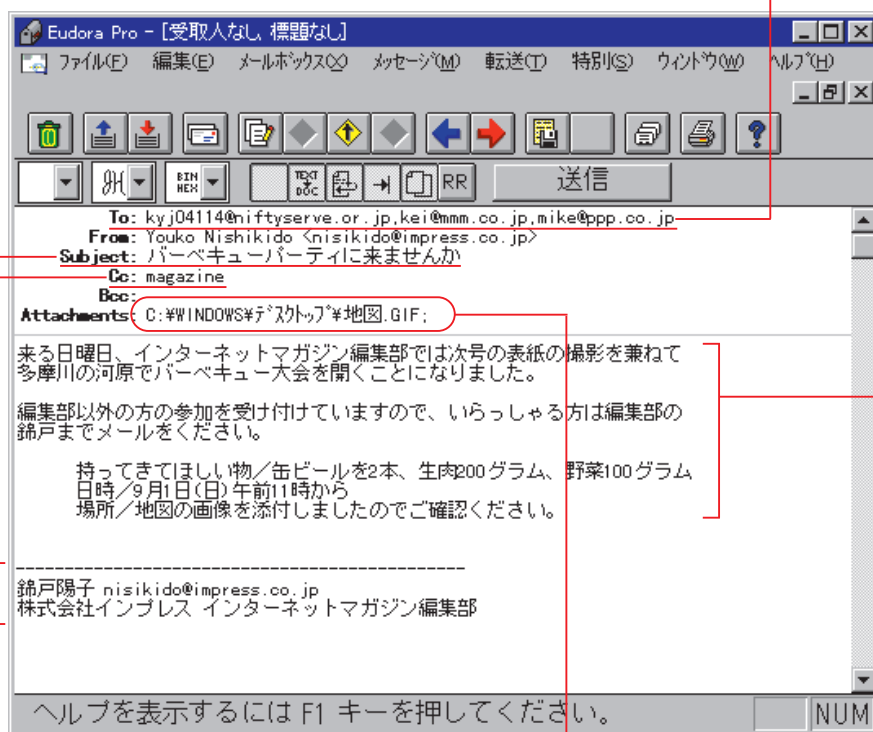
画像や音声、プログラムなど、さまざまな形式のファイルを本文に添付して送ることができる。

宛 先

インターネットのメールアドレス

本 文

基本的に一瞬で届くので、手紙のような形式ばった挨拶より、1つの用件を1通に収めるのが普通。



読んだりできるので、1対1のコミュニケーションがとてもスムーズになるのはもちろんだが、一度の操作で複数の人へ送信できる機能を使えば、1対多のメディアにもなる。

たとえば、メーリングリストというサービスがある。ある1つのメールアドレスに1通のメールを送ると、それがメーリングリストに登録されたすべての人に届き、また誰かがそのメールに対して1通返すと、すべての人に届く。この1対多のしくみを利用して、さまざまなグループが情報交換を行っている。

最近では、1対多の同報配信機能を使ってビジネスを展開している例もある。毎朝インプレスから送り出される電子メール新聞『インターネットウォッチ』は、約3万人が購読している。毎朝メールボックスを開けると、その日の

インターネットのニュースが届いているというサービスだ。このような電子メールによるニュース配信サービスは、全国紙を発行する新聞社も始めている。今後インターネットの利用者が増えれば増えるほど、こうしたサービスも増えていくだろう。

文字やその他の情報を共有する

メッセージやニュースなどの文字情報だけでなく、画像や音声などコンピュータで扱えるデータファイルなら何でも本文に添付して送ることができる。そしてそれらは送った側と受け取った側で互いに共有することができる。さらにそれを再利用したり、第三者に転送したりすることも簡単だ。

誰でも簡単に使える

このように、電子メールは手紙を超え、電話やFAXとも違う情報ツールである。これをインターネットという世界的なフィールドの中で使うことで、その利便さはより高くなり、新しいコミュニケーションインフラになっていく。

最後に付け加えると、電子メールは1度メールアドレスを取得して専用ソフトを準備してしまえば、日常のメッセージのやりとりは、きわめて手軽にできるようになる。あとは、インターネットのしくみを理解して、個人のセンスで使いこなすだけだ。次のページから、そうなるまでのステップを順を追って解説していこう。

電子メールを使うためのソフト13本

インターネットメールを使うための第1歩は、ソフトを用意することから始めよう。ここでは13本のソフトについて、送受信時に使う基本機能、画像データなどを送るための機能、最近搭載され始めたホームページとの連動機能などを表にしてみた。付録CD-ROMに収録しているものもあるので試してみしてほしい。

メールソフトの基本機能解説

CC (カーボンコピー)









受取人のほかにも同じメッセージを送りたい相手がある場合に指定する機能。

BCC (ブラインドカーボンコピー)

本来の受取人には知られることなく別の人にも同じメッセージを送信できる。「CC」とは違って本来の受取人にはそのメッセージのコピーが誰に送られているのかわからない。(194ページに詳細記事)

e-mail
TOOL

インターネットで使うメールソフト一覧

ソフト	EUDORA Pro	AL-Mail	電話八号(32)	Becky!	Winbiff	Microsoft Internet Mail	Netscape mail	Microsoft Exchange(受信トレイ)
								
バージョン	2.2(X W)2.1.4(X M)	1.22	1.1b2	1.08	1.515	b3	2.02	4
送信								
CC								
BCC						x		
重要度の自動設定		x	x	x	x		x	
グループ送信							x	
差出人へ返信			x					
全員へ返信				x				
転送								
回送		x	x	x	x	x	x	x
複数メールの一括送信								
バイナリーファイルの添付 自動変換方式	uuencode 3: Base64 BinHex 4: AppleDouble 4: AppleSingle	uuencode Base64 BinHex	Base64	uuencode Base64 BinHex	uuencode Base64 BinHex	uuencode Base64 quoted printable	Base64	Base64
その他								
着信時の自動仕分け		5					x	x
メールボックスの作成								
メールボックスの階層化		x	x		x	x	x	
複数のアカウントで一元管理	x	x			x	x	x	
クリックابلURL		x	x					x
クリックابلE-mailアドレス		x	x		x			x
署名の自動添付								x
検索			x			6		
自動改行			x	x	x			
引用符の任意設定	x						x	x
引用文の任意設定	x			x	x	x	x	x
ソート並び替え機能								
他のメールソフトからのデータの取り込み	x	x	x	x	x	Exchangeから	x	x
価格	9,800円(試用版からの移行は6,000円)	シェアウェア 2,000円	フリーソフトウェア	シェアウェア 4,000円	シェアウェア 3,000円	無償	Netscape Navigator (市販品に付属)	無償
開発元/発売元	QUALCOM社 クニリサーチ (日本語版)	中村匡志氏	石岡隆光氏	RIM-Arts software	オレンジソフト	マイクロソフト	ネットスケープ	マイクロソフト
付録CDに収録	試用版を収録	収録	収録	収録	収録	収録		
対応プラットフォーム	Windows/Macintosh	Windows	Windows	Windows	Windows	Windows	Windows/Macintosh	Windows

注) *1: 8月23日発売 *2: 8月末発売 *3: Windows版のみ対応 *4: Macintosh版のみ対応 *5: 着信後、任意のタイミングで自動振り分けを行う *6: メール本文への検索はできない *7: 指定したメール内で検索



重要度の設定

送信時にメッセージの重要度をメニューから設定する機能。同じソフトを使っている同士では特に有効だが、異なるソフト間でも反映される。

グループ送信機能

複数の受取人をグループとしてアドレス帳に登録する機能。

差出人へ返信

受信メッセージを読んだ後、即座に差出人に返信メッセージを書いて送る機能。

全員へ返信

自分を含めて複数の宛先へ送られたメッセージに対し、メッセージを受け取った人全員に返信を行う機能。

転送

受信したメッセージを第三者へ転送する機能。

回送

受信したメッセージを第三者に送る機能だが、「差

出人」には転送者ではなく元のメッセージを送信した人が表示される。自分が適任者ではないメッセージを受信したときに適任者に送るときに使う。

複数メールの一括送信

複数のメッセージを書きたためておき、1度に送信する機能。ネットワークに接続していない状態でメッセージを作り、接続時にまとめて送信することができるのでダイヤルアップ利用者には必須。

添付ファイルの変換方式

プログラムや画像など、本文以外に別のファイルを添付して送る場合、そのままでは送れないので1度テキストに変換して送る。変換方式はいくつかあるので、相手の環境を確認して相手が復元できる方式を選択する必要がある。(186ページに詳細記事)

着信時の自動仕分け

あらかじめ設定しておいた条件に基づいて、メッセージ受信時に自動的にメッセージを複数のメールボックスに振り分ける機能。フィルタリング機能ともいう。(192ページに詳細記事)

メールボックス(フォルダー)の作成

受信メールの整理などの目的で、新しいメールボックスを作成する機能。

メールボックス(フォルダー)の階層化

メールボックスを階層で管理する機能で、あるメールボックスの下に「子」メールボックスを作ってもメールボックスを階層化する。

複数のアカウントで一元管理

複数のプロバイダーと契約しているなど、メールアドレスを複数持っている場合に、他のメールアドレスへの切り替えができる機能。あらかじめ使用するユーザー情報を複数設定しておく必要がある。(193ページに詳細記事)

クリックابلURL

メールの文中にあるURLを自動的に認識してそのサイトへアクセスする機能。アクティブURLともいう。マウスポインターをURL文字列に重ねてダブルクリックするとWWWブラウザが立ち上がり、自動的にそのサイトへアクセスする。

クリックابلE-mailアドレス

メールの文中にあるメールアドレスを自動的に認識する機能。マウスポインターを重ねてダブルクリックすると、そのメールアドレス宛のメール作成ウィンドウが起動する。

署名の自動添付

「氏名」「連絡先」などの情報を数行にまとめた署名(シグネチャー)を登録してメッセージ送信時に自動添付する機能。

検索

メールボックスにメッセージ中の文字列を検索する機能。

自動改行

メッセージ本文の1行の長さを、送信時に自動的に調節して折り返す機能。

引用符の任意設定

メッセージを返信・転送する際に、元のメッセージ内容が引用であることを示す記号を任意に設定する機能。「>」が一般的。

引用見出しの任意設定






返信の際、引用したメッセージの作者を任意の文章で表示する機能。たとえば「 さんは書きました」などという文章。

ソート(並べ替え)機能

メールボックス内のメールを並べ替えることができる機能。日付順やsubjectなどの各項目ごとに並べ替えて表示することができる。

他のメールソフトからのデータの取り込み

他のメールソフトの受信データやアドレスブックなどを取り込んで利用できる機能。

WeMail	Pronto Mail	tsworks E-Mail	DOLPHIN	Chameleon Mail & Web Surfer
				
2.0J-b	2.0b 1	2.24b	1.0 2	5.01J
x	x	x		
x			x	
x	x			x
uuencode Base64 ISH	Base64 uuencode	x uuencode Base64	uuencode Base64 BinHex AppleDouble AppleSingle	uuencode
		5		
x		x		x
	x	x		
x	x	x		x
x	x	x		x
	7			x
x		x		
				x
	x		x	x
		x		
x	x	x	Eudoraから	x
シェアウェア 3,000円	9,800円	フリーソフトウェア (32bit版はシェアウェア)	8,800円	3,000円
NECテレコム システム	CommTouch Software 誠和システムズ	富士通北海道 通信システム	ヒューリンクス	ネットマネージ ジャパン
収録		収録		
Windows	Windows	Windows	Macintosh	Windows

人気ソフトでメールの基本操作を覚えよう

読者から編集部に送られてくるメールを見てみると、Eudora、AL-Mail、ネットスケープメールが多く使われている。これらに新登場のマイクロソフトインターネットメールを加えた4つのソフトを使い、初めてソフトを導入してからダイアルアップでメールを送受信するまでの実際を解説しよう。

TOOL


Eudora Pro

Win

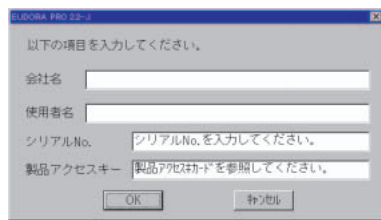
Mac

市販品

CD-ROM (試用版)

*ここではWindows用を前提に解説し、対応するMacintosh版特有の名称は<>で示す。

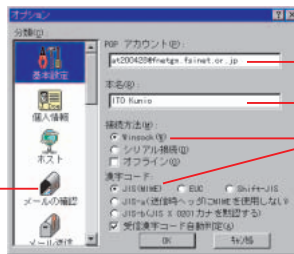
準備



1 インストール後、初めて起動するとユーザー登録画面が現れるので、各欄を埋めて「OK」ボタンをクリックする。

2 「オプション<設定>」が表示されるので、POPアカウント欄に「ユーザーID@POPサーバー名」という形式で入力する。ユーザーIDもPOPサーバー名も、プロバイダーから送られてくる資料を見ながら指定する。POPサーバーは「POP3サーバー」や「メールサーバー」と呼ばれることもある。わからない場合はプロバイダーに問い合わせよう。

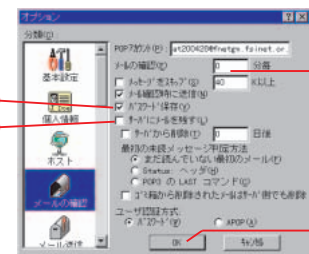
3 本名を入力する。メールを送ったとき、この名前が差出人名として使われる。



4 ダイアルアップの場合、接続方法は「Winsock < MacTCP >」に、漢字コードは「JIS (MIME)」になっていることを確認する。

5 「メールの確認」アイコンをクリックすると表示内容が変わる。POPアカウント欄には 入力したもの がそのまま表示される。

6 「メールの確認」が「0分ごと」になっていることを確認する。0以外だと何分おきに勝手にダイアルアップIP接続が行われる。



7 毎回メールを読みに行くたびにパスワードを入力したくない場合は「パスワード保存」をチェックする。ただし、複数の人で1つのパソコンを共有してする環境にいる場合はチェックしないようにしよう。

8 「サーバーにメールを残す」のチェックをはずす。初めの設定のままだと受信後もサーバー上にどんどんメールがたまっていく。

9 「OK」ボタンをクリックして準備は完了。この設定は次回からは表示されない。表示したい場合は「ツール」メニューから「オプション<設定>」を選択する。

Eudora-JからEudora Proへの移行

Eudora-J (マック版、フリーウェア)からEudora Pro (マック版)へ移行する場合にメールデータ、メールボックス、ニックネームを引き継がせることができる。

① Eudora Proをインストール

② システムフォルダを開き、「初期設定」フォルダ内に「plugin files」というフォルダがあればこれをゴミ箱に捨てる。

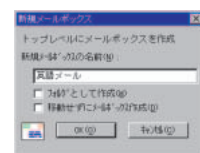
③ システムフォルダの「電子メールフォルダ」を開き、中にあるファイルの名前を変更する。受信簿 受信 受信簿.toc 受信.toc 送信簿 送信 送信簿.toc 送信.toc 電子メールニックネーム Eudoraニックネーム

④ 「電子メールフォルダ」の中身をすべてシステムフォルダ内の「Eudoraフォルダ」に移動。同じ名前のファイルは上書きする。

Tips

メールボックスの作成とメールの移動

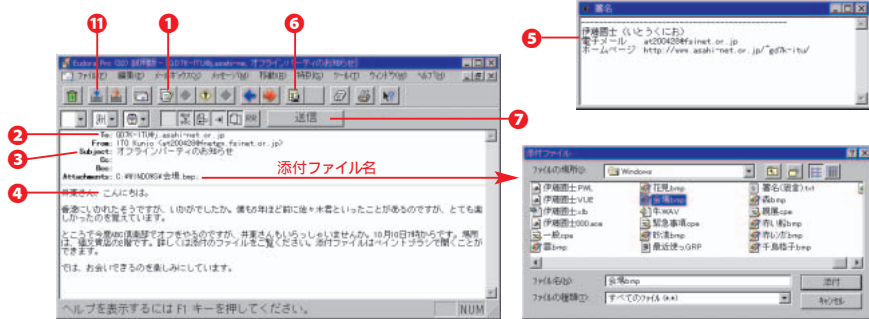
受信メールボックスなどでメールを選択し、「移動」メニューから「新規」を選択する。ダイア



ログボックスで新しいメールボックスの名前を入力して「OK」ボタンをクリックすると、新しいメールボックスが作成され、そこへメールが移動される。



送る



1 ツールバーの「新規メッセージ」ボタンをクリックするか、「メッセージ」メニューから「新規メッセージ」を選択する。「メッセージ作成」ウィンドウが表示され、From欄には自動的に本名とPOPアカウント名が記入される。

2 To欄をクリックし、宛先のメールアドレスを入力する。

3 Subject欄をクリックし、メールの標題を入力する。

4 本文を入力する。

5 「ツール」メニューから「署名」を選ぶと「署名」ウィンドウが表示されるので、そこに自分の名前やメールアドレスを入力して閉じる。これはメールの最後に自動的に付けられる。

6 画像データなどメールに別のファイルを添付する場合は、ツールバーの「書類の添付」ボタンをクリックするか、「メッセージ」から「書類の添付<書類を添付>」を選び、ファイルを選択する。指定したファイルの名前はAttachments欄に表示される。

7 「送信」ボタンをクリックすると「メッセージ作成」ウィンドウが閉じる。

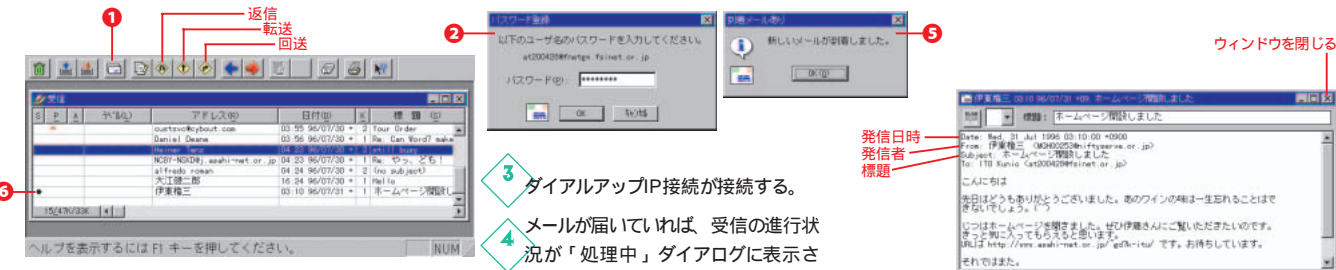
8 「ネットワークの接続確立中<メール送信中>」というメッセージに続いてダイアルアップIP接続の表示がされる。Windows95なら「接続」ボタンをクリックする。

9 プロバイダーに接続されるとメールが送信される。接続に時間がかかった場合にはEudora Proがエラーメッセージを表示し、送信が行われないこともある。そのときはダイアルアップIP接続が完了したのち「ファイル」メニューから「送信待ちメールの送信」を選ぶ。

10 「処理中」が消えたら送信は完了。ダイアルアップIP接続を切断する。

11 送信のすんだメールは送信メールボックスに保管される。ツールバーの「送信」ボタンをクリックするか「メールボックス」メニューの「送信」を選択すると表示される。

読む



1 ツールバーの「メールの確認」ボタンをクリックするか、「ファイル」メニューから「メールの確認」を選択する。

2 Eudora Proをインストール後、初めて「メールの確認」を行う場合は、「パスワード登録」ダイアログが表示される。特にプロバイダーからの指示がないならダイアルアップIP接続用のパスワードを入力する。

3 ダイアルアップIP接続が接続する。

4 メールが届いていれば、受信の進行状況が「処理中」ダイアログに表示される。

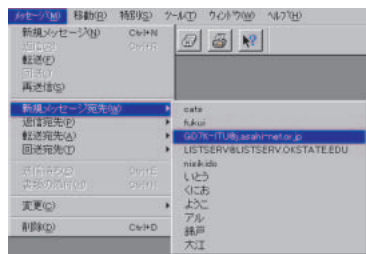
5 新しいメールがあるときは④の表示が出るので「OK」ボタンをクリックする。受信は完了したのでダイアルアップIP接続を切断する。回線を切った後、読んだほうが電話代が節約できるからだ。

6 届いたメールは受信メールボックスに入る。受信メールボックスが表示されていないときはツールバーの「受信」ボタンをクリックするか、「メールボックス」メニューから「受信」を選択する。S（ステータス）欄に「」の表示されているのが届いたメール。ダブルクリックして開く。読んだらウィンドウの右上の「x」をクリックして閉じる。

複数のメールを書きたててから送る



「ツール」メニューから「オプション<設定>」を選択し、「メール送信」をクリックする。「ただちに送信」のチェックマークをはずしておく。こうすると「メッセージ作成」ウィンドウの「送信」ボタンが「キューに入れる」ボタンに変わる。「キューに入れる」ボタンをクリックするとそのメールは送信メールボックスに送信待ち状態で保管されるので、「ファイル」メニューから「送信待ちメールの送信」を選択して送信する。



宛先入力を簡単に

メール内にあるメールアドレスをマウスで選択して反転させ、「特別」メニューから「受取人として追加」を選択してリストに登録しておく。その宛先を「メッセージ」メニューの「新規メッセージ宛先」から選択できるようになる。



AL-Mail

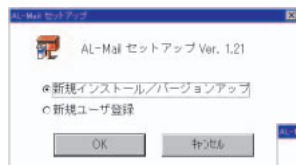
Win

シェアウェア

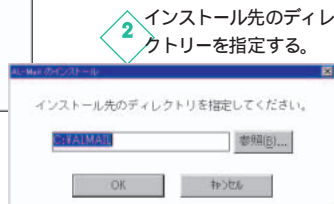
CD-ROM

AL-Mail(あるめーる)は、Windows3.1、95、NTのいずれでも使うことができる。AL-Mailをさらに使いやすくするためのサポートプログラムも多い。インストールを開始するとそのままサーバーなどの設定に移行するので、指示に従って最後まで行けば、必要な準備は終わる。

準備



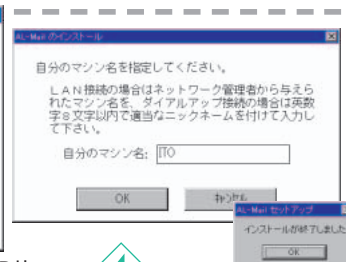
1 AL-Mailの圧縮ファイルを解凍したら、中に入っているSetup.exeを実行し、表示されたメニューで「新規インストール/バージョンアップ」を選択する。



2 インストール先のディレクトリを指定する。

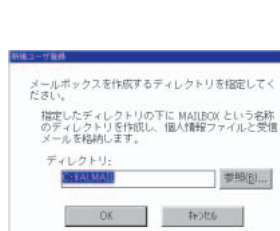


3 利用するプロバイダーから指定されたPOPサーバー名とSMTPサーバー名を入力する。これらは「メールサーバー」と呼んでいる場合もあるが、その場合はそのメールサーバー名を両方の欄に入力すればよい。



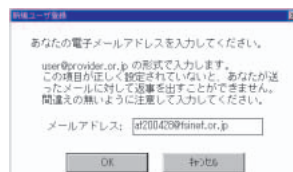
4 適当なマシン名を入力する。

5 これでインストールは終了。

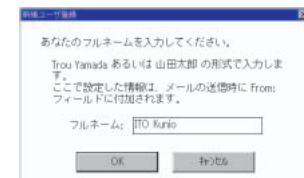


7 メールサーバーに接続するためのログイン名(ユーザーID)を入力する。

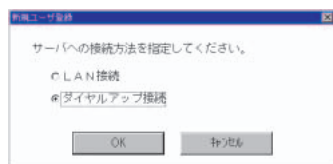
6 続けてユーザー登録のダイアログが表示される。まず、ユーザーのメールボックス用のディレクトリを指定する。届いたメールはこのディレクトリに保管されることになる。



8 自分のメールアドレスを入力する。



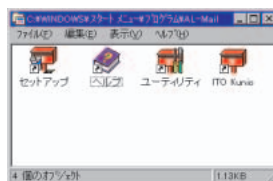
9 本名を入力する。メールを送ったとき、この名前が差出人名として使われる。



10 ダイヤルアップIP接続の場合は「ダイヤルアップ接続」を選択する。



11 これでユーザー登録は完了し、AL-Mailが使える状態になる。



手順⑨で設定した名前のアイコンがスタートメニュー(Windows95の場合)やプログラムマネージャ(Win-dows3.1/NTの場合)に登録されているので、AL-Mailを使うときはそのアイコンから起動する。

Windows95でも自動ダイヤルアップするツール

Windows95でもAL-Mailが自動的にダイヤルアップIP接続できるようにするプログラム「alcnc95」が、AL-Mailの作者のホームページにある。

URL <http://www.imasy.or.jp/naka/almail.html>
インストール方法は次のとおり。

① alcnc95.exeをAL-Mailと同じディレクトリに置く。

② mailboxディレクトリのalmail.prfを「メモ帳」などのエディタで開き、[WinMail]セクションに以下の2行を追加する。

LoginBatch=" c:\almail\alcnc95.exe "

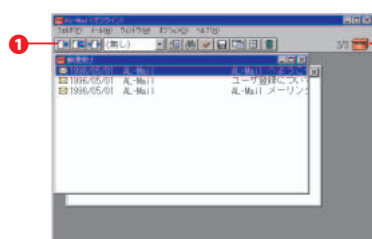
LogoutBatch=" c:\almail\alcnc95.exe /off "

③ コントロールパネルの「インターネット」をダブルクリックし、「オートダイヤルを使う」にチェック

クマークを付ける。

これにより、「ポスト」アイコンのクリックでWindows95の「ダイヤルアップネットワーク」が表示されるようになる。ただし、切断は手動で行う必要がある。

送る



1 AL-Mailを起動すると「AL-Mail」ウィンドウが表示される。メールを送るときは、送信アイコンをクリックする。

2 「メール送信」ウィンドウが表示される。ここでメールを書く。



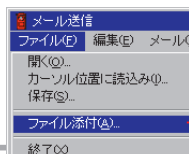
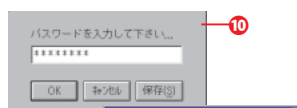
6 署名として自動的に「本名 メールアドレス」がメールの最後に添付される。署名を変更したい場合は、「メール送信」ウィンドウの「メール」メニューから「シグネチャ編集」を選択する。

添付ファイル

3 「題名」欄にメールの題名を入力する。他のメールソフトのSubject欄に相当する。

4 「宛先」欄に送り先のメールアドレスを入力する。これは他のメールソフトのTo欄に相当する。同時にほかの人にもメールを送りたいときは「同報」欄にメールアドレスを入力する。これは他のメールソフトのCc欄に相当する。Bccを指定するときは「メール」メニューから「詳細設定」を選んで入力する。

5 メール本文を入力する。



7 ファイルを添付する場合は、「メール送信」の「ファイル」メニューから「ファイル添付」を選択する。「添付ファイルの設定」が表示されるので「追加」ボタンをクリックしてファイルを選択する。また、「メール送信」ウィンドウにデスクトップやエクスプローラからファイルをドラッグしてもいい。添付ファイルは「メール送信」ウィンドウ下端にアイコン表示される。

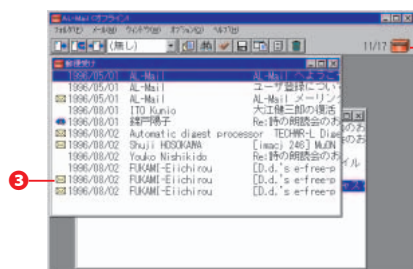
8 「メール送信」ウィンドウの「ポスト」アイコンをクリックすると、ウィンドウが閉じ、メールは送信待ち状態となる。

9 Windows95やNTでは、ここで手動でダイアルアップ接続をする必要がある（自動で接続する方法については囲み参照）。

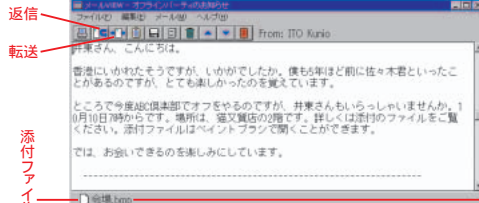
10 「AL-Mail」ウィンドウの右上の「メール取り込み」アイコンをクリックするとメールの受信と送信の両方が行われる。AL-Mailを最初に使うときはメールサーバー用のパスワードを聞いていく。ここで「保存」ボタンをクリックしておけば次からパスワード入力不要。

11 この表示が消えれば受信と送信は終了だ。Windows3.1でTrumpet Winsockを使用している環境であれば自動的にダイアルアップ接続が切断されるが、他の環境では手動で切断する必要がある。Windows95なら手動で切断する。

読む

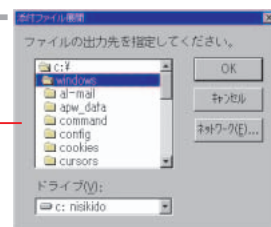


1 送信と同じように、「AL-Mail」ウィンドウの右上の「メール取り込み」アイコンをクリックする。Windows3.1でTrumpet Winsockを使っている環境ではここで自動でダイアルアップしてくれるが、Windows95やNTではその前に手動でダイアルアップ接続をしておく。最初に使うときは、ここでメールサーバー用のパスワード入力が必要となる。



2 メールサーバーに接続されると、メールの受信と送信が行われる。その表示が消えたら一度ダイアルアップ接続を切断する。メールはオンラインで読むよりも回線を切断して読んだほうが安上がりだからだ。

3 受信したメールは「郵便受け」フォルダーに置かれる（AL-Mailのフォルダーは他のメールのメールボックスに相当する）。封筒アイコンの付いたメールがまだ読んでいない分だ。一番初めはAL-Mailには最初から3通のメールが「郵便受け」フォルダーに入っていてAL-Mailの登録料の送り方

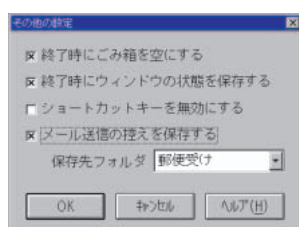


などが説明してあるので読んでおこう。本文を読むにはメールをダブルクリックする。

4 メールに別ファイルが添付されている場合はウィンドウ下端に添付ファイル名が表示される。このファイル名をクリックするとファイルの保存場所を聞いてくるので指定する。

Tips 送信したメールを残す

AL-Mailでは送信したメールはどこにも残らないが、指定フォルダーに控えを残すようにすることもできる。それには「オプション」メニューから「ユーザー環境設定」を選択し、「その他の設定」ボタンをクリックする。「メール送信の控えを保存する」にチェックマークを付け、保存先フォルダーを設定する。

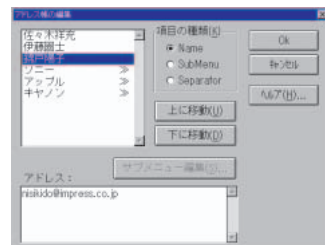


宛先入力を簡単に



1 「オプション」から「アドレス帳設定」を選択し、「追加」ボタンをクリックしてアドレス帳のファイルを作成する。ファイル名をクリックし、「編集」ボタンをクリックする。ここで左上の入力欄をダブルクリックして名前を入力し、下の入力欄にその人のメールアドレスを入力する。

2 「メール送信」の「宛先」欄をクリックし、右ボタンをクリックする。アドレス帳に登録してある人の名前が表示されるので送り先を選択する。





ネットスケープメール

Win

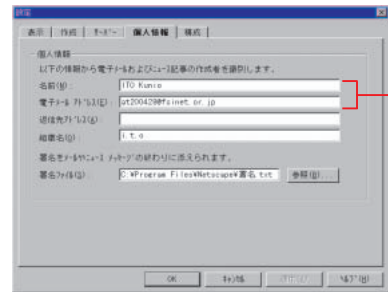
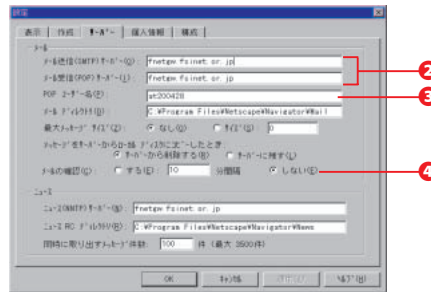
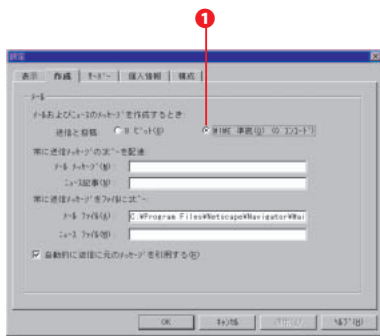
Mac

市販品

*画面は2.02日本語版を使用

ご存じNetscape Navigatorの電子メール機能。文中のURLヘジャンプしたり、メールウィンドウでホームページを表示したり、本体との連携機能が魅力だ。反面、メールを読むためにNetscape Navigatorを起動するのはわずらわしい。自動仕分けができないなど機能もやや見劣りする。

準備



1 「オプション」メニューから「メールとニュースの設定」を選択し、「作成」のタブをクリックする。「送信と投稿」欄で「MIME」*（184ページ参照）を選択する。

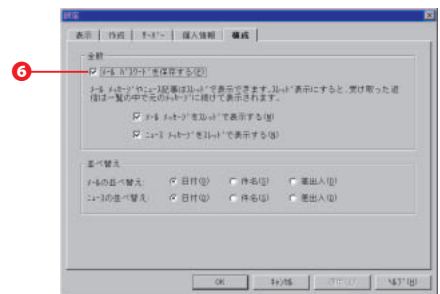
2 「サーバー」タブをクリックし、「メール送信（SMTP）サーバー」「メール受信（POP）サーバー」にサーバー名をプロバイダーの資料にもとづいて入力する。

3 「POPユーザー名」には、自分のメールアドレスの@より前の部分だけを入力する。

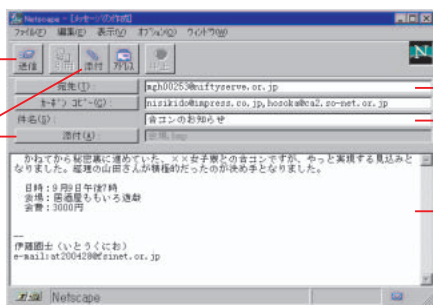
4 「メールの確認」欄は「しない」を選択する。「する」を選択すると一定時間ごとにダイアルアップP接続が行われることになるからだ。ただし、接続中に自動的にメール到着を確認したい場合は「する」を選択する。

5 「個人情報」タブをクリックし、「名前」欄に本名、「電子メールアドレス」欄にメールアドレスを入力する。

6 受信するときに毎回パスワードを入力したくない場合は、「構成」タブをクリックし、「メールパスワードを保存する」にチェックマークを付ける。最後に「OK」ボタンをクリックする。



送る



メニューから「すべて表示」を選択すると、「返信先」欄や「ブラインドカーボンコピー」欄なども表示され、入力することができる。

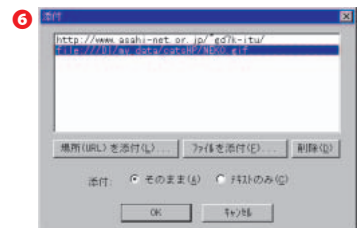
3 「件名」欄（Subject欄）にメールの題名を入力する。

4 ウィンドウの下側に本文を入力する。

5 自動的に署名を付加したいときは、署名内容を記入したテキストファイルを用意する。「オプション」から「メールとニュースの設定」を選択し、「個人情報」タブをクリックし、用意したファイルを「署名ファイル」欄に指定する。こうしておくで本文欄に署名が入ったメール作成ウィンドウが表示される。

1 「ファイル」メニューから「新しいメールの作成」を選択するとメール作成ウィンドウが表示される。

2 「宛先」欄（To欄）にメールアドレスを入力する。「宛先」欄以外のメールアドレスにも送りたいときは「カーボンコピー」欄（Cc欄）に入力する。「表示」



6 メールに別のファイルを添付する場合は「添付」ボタンをクリックする。他の電子メールソフトのようにパソコン上のファイルを指定できるほか、URLによってインターネット上のファイルを指定することもできる。この場合はウィンドウ閉じた時点でインターネットへの接続が行われ、指定URLのホームページがネットスケープメールに取り込まれる。

7 「送信」ボタンをクリックするとダイアルアップP接続が行われ、メールが送信される。

読む

1 まずメールウィンドウを表示する必要がある。ブラウザウィンドウの右下にある「メール」アイコンをクリックするか、「ウィンドウ」から「Netscapeメール」を選択する。

2 インターネットに接続していない場合はダイヤルアップ接続が開始される。このとき自動的にメールの受信が行われる。最初にネットスケープメールを使う場合はここでメールサーバー用のパスワード入力が必要だ。

3 メールウィンドウが表示されるので、右上のメール一覧から読みたいメールをクリックで選択する。メールの内容はウィンドウの下半分に表示される。

4 再び新しいメールを受信するには、ツールバーの「受信」ボタンか、ウィンドウ右下の「メール」アイコンをクリックする。

まだ読んでいないメール
メールフォルダー内から読みたいメールをクリックする
メール一覧で選択されているメールの内容
ドラッグにより移動可能
「返信」ボタン
右クリックで表示されるポップアップメニューから「返信」を選択

Tips

起動時にメールを表示させる

「オプション」メニューの「全般の設定」を開き、「開始したときに起動」という項目で「Netscapeメール」にチェックマークを付ける。これでNetscape Navigatorの起動時にメールウィンドウが表示される。

書きためてから送る

メール作成ウィンドウの表示されているとき、「オプション」メニューから「あとで送信する」を選択する。この状態で送信を実行すると、メールはOutboxというフォルダーに入る。こうしてメールを書きためた後、メールウィンドウで「ファイル」メニューから「送信トレイ内のメール

宛先入力を簡単に

アドレス帳にメールアドレスとニックネームを登録しておく。登録したい人のメールをメール一覧で選択し、「メッセージ」メニューから「アドレス帳に追加」を選択すると登録も簡単。ただしニックネームには半角のアルファベット小文字と数字しか使えない。アドレス帳を使ったメールアドレスの指定方法は3通りある。

① メール宛先を入力するとき、「宛先」ボタンがツールバーの「アドレス帳」をクリックすると、登録されているアドレスの一覧が表示されるので、マウ

スで宛先を選択し、宛先を入れる場所（宛先、CC、BCC）を選ぶ。

② 「宛先」欄にニックネームを入力する。

③ 「ウィンドウ」メニューから「アドレス帳」を選択し、アドレス帳を表示する。登録されている名前をダブルクリックすると、その人のメールアドレスが宛先として指定されたメール作成ウィンドウが表示される。

ホームページをメールで送る

ブラウザウィンドウでホームページを表示し、「ファイル」メニューから「文書をメールで送信」を選択すると、メールの添付ファイルとしてホームページのURLが記入される。このメールをネットスケープメールで受け取ると、メールのウィンドウ上にそのホームページがレイアウトされた状態で表示される。送られているのはHTMLファイルそのものなので、他のメールソフトではHTMLのソースファイルが表示されることになる。

アドレス帳にニックネームを登録
クリックするとアドレス一覧が表示される
アドレス帳に登録したニックネームを使うことができる



マイクロソフトインターネットメール

Win 無償 CD-ROM

*インターネットエクスプローラ3.0が必要

*ここではCD-ROMに収録しているベータ版をもとに解説する。

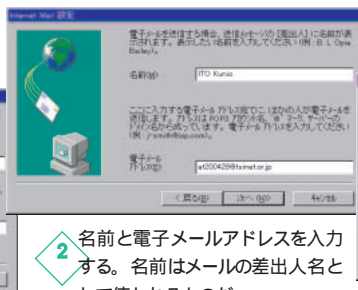
準備

あらかじめインターネットエクスプローラ3.0をインストールしておくこと。でないと、インターネットメール&ニュースはインストールできない。どちらも本誌付録のCD-ROMに収録されているのでそちらを使うのが手取り早い。

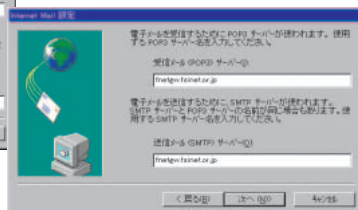
マイクロソフト「インターネットメール&ニュース」のメール機能。署名機能やメールの自動振り分け機能（フィルター）、アクティブURL機能などを備える。また、マイクロソフトエクスチェンジのメールやアドレス帳を取り込むことができるので、エクスチェンジから乗り換えるならこれだ。



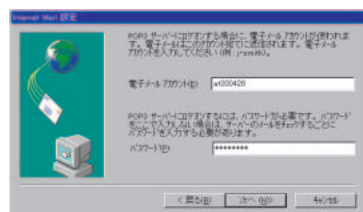
1 インストールが終了したら、「スタート」メニューの「プログラム」から「Internet Mail」を選択する。インターネットメールを設定するためのウィザードが起動する。



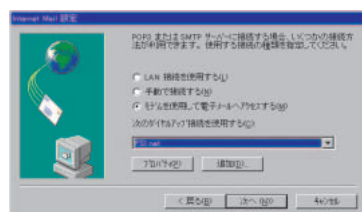
2 名前と電子メールアドレスを入力する。名前はメールの差出人名として使われるものだ。



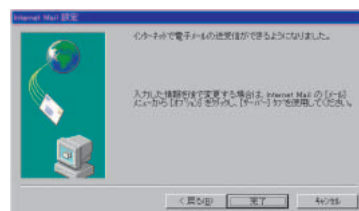
3 POP3サーバーとSMTPサーバーの名前を入力する。プロバイダーの資料にSMTPサーバーの記載がなければ、POP3サーバー名を入力しておく。



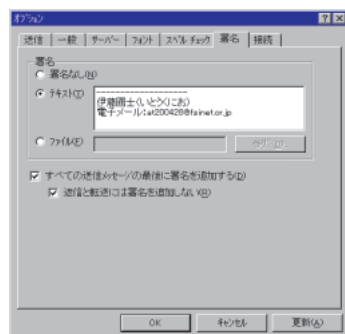
4 電子メールアドレスとパスワードを入力する。電子メールアドレスは、電子メールアドレスの@より前の部分だ。



5 ダイヤルアップ接続の場合は「モデムを使用して電子メールへアクセスする」を選択する。「次のダイヤルアップ接続を使用する」のところでは、接続に使用する接続ファイルを選択する。

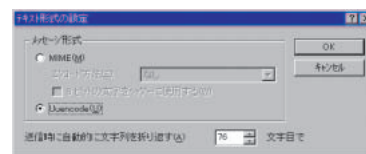
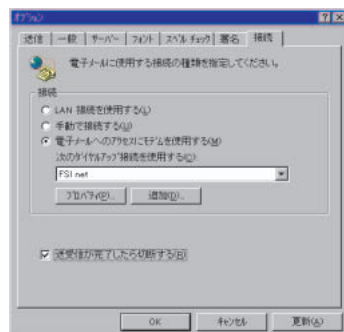


6 「完了」ボタンをクリックすれば、ウィザードでの設定は終了する。



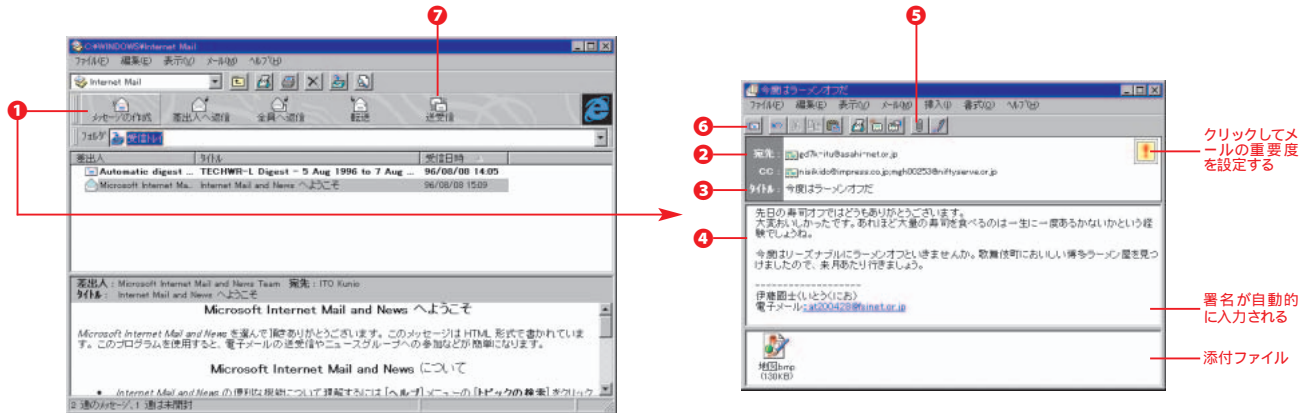
7 インターネットメールが起動するので、署名を設定しておこう。「メール」メニューから「オプション」を選択し、「署名」タブをクリック。「テキスト」欄に署名を入力する。これで送信メールに自動的に署名が付加される。

8 「接続」タブをクリック。「送受信が完了したら切断する」にチェックマークを付けておく。これにより、送受信後に自動的にダイヤルアップ接続が切断される。

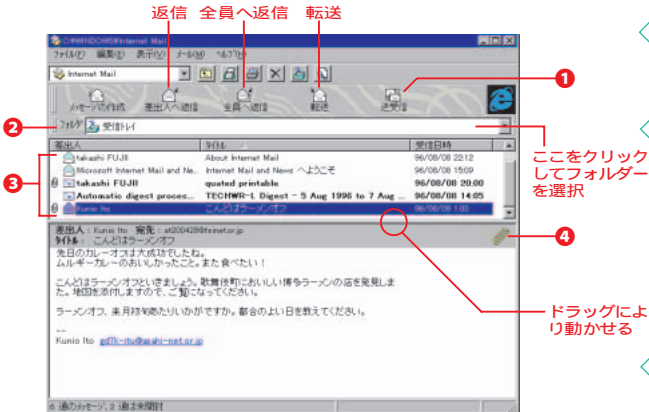


9 ファイルを添付するときのために、エンコード方式も設定しておこう。「送信」タブをクリックし、「テキスト形式」の「設定」ボタンをクリックする。表示されたダイアログは一見するとメール本文のエンコード方式の設定のようだが、添付ファイルのエンコード方式もこれに準ずるようになっている。ここで「uuencode」を選択する（今回使用したベータ版ではMIME方式に不具合があったのでこうした。詳細は187ページ参照）。以上で準備は完了だ。

送る



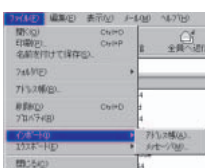
読む



Tips

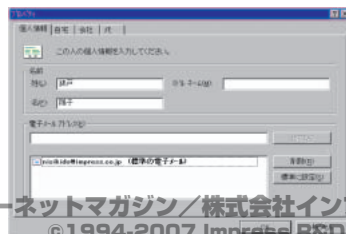
アドレス帳の活用

メール一覧ウィンドウで「アドレス帳」ボタンをクリックすると、アドレス帳が表示される。「新規アドレス」ボタンをクリックして、新しいメールアドレスを登録する。登録したメールアドレスを呼び出すには、メール作成ウィンドウの「宛先」ボタンや「CC」ボタンをクリックする。



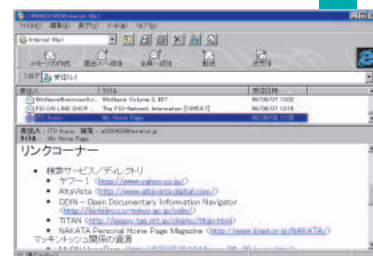
エクステンジのメールアドレス、アドレス帳データを取り込む

マイクロソフトエクステンジのメールアドレスやアドレス帳データを取り込むには、「ファイル」メニューから「インポート」を選択し、サブメニューから「アドレス帳」または「メッセージ」を選択する。どちらの場合も、プロファイルを選択するダイアログが表示されるが、通常は「MS Exchange の設定」のままでよい。



HTMLファイルの作成と表示

添付されて届いたHTMLファイルをレイアウトして表示することができる。インターネットメールからもHTMLファイルを送信することができる。それには「メッセージの作成」ウィンドウの「書式」メニューから「HTML形式」を選択する。これで、ウィンドウ内で行った書式設定がHTML形式に変換されて送信される。



はみだし
1行ネチケツト
読んだら早めに返信しよう。

失敗だらけの電子メールを卒業しよう

基本ツールを揃えてメールの送受信ができるようになって、ときどきうまくいかないことがある。文字が読めなかったり、添付ファイルが開けなかったりした経験のある人は多いだろう。原因は、送り手と受け手の間のちょっとした食い違いだ。このパートでは、電子メールのよくあるトラブルを解決する方法を、さまざまなケース別に解説する。

文字が読めない！

【ケース1】本文の文字化け

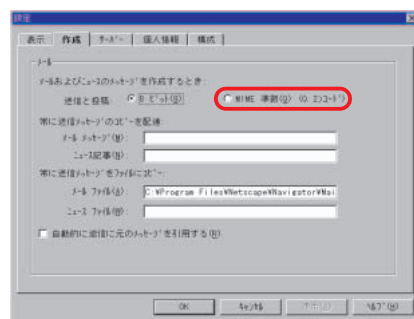
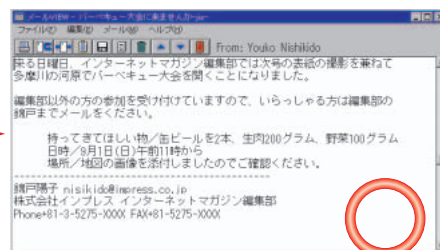
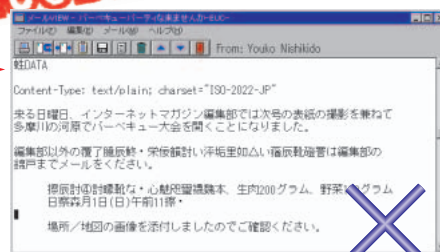
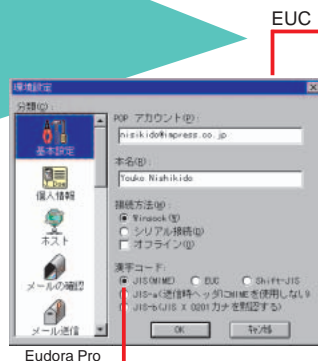
送られてきた日本語のメールの内容が全体的に文字化けを起こすことがある。読めない原因は、送信側で、文字コードの設定をまちがえていることだ。意味のない漢字の羅列になったり、漢字にならなかったりする。

漢字コードというと、シフトJIS、EUCといったものをインターネットのソフトの画面で見たことがあるだろう。最もまちがいやすいのは、このところで、相手のコンピュータで扱えるコードに設定してしまうことだ。確かにフロッピーでファイルを渡すときを考えると相手は扱える文字コードに合わせれば問題はない。しかし、ここでいう漢字コードの設定は、メールサーバーを経由してインターネットに送り出す漢字コードのことだ。

インターネットメールの文字コードは、JIS7ビットコードに設定する。メールソフトによってはJIS7ビットがiso-2022-jpと表記されている場合がある。ほとんどのメールソフトでサボ

ートしているので問題はない。とくに漢字コードの設定がないIAL-Mailなどのソフトでも、もともとJIS7ビットで送ることができるになっている。インターネットでは、どんな仕様のメールサーバーを利用するかかわらないので、ASCIIコード（文字コードの世界的な標準規格）と同じ7ビットの文字コードに合わせておくとも都合がいい。シフトJISなどの8ビットで表現する文字コードの場合、電子メールを送った相手が7ビットデータしか扱えないメールサーバーであると、1ビットが失われて文字化けが生

TROUBLESHOOTING

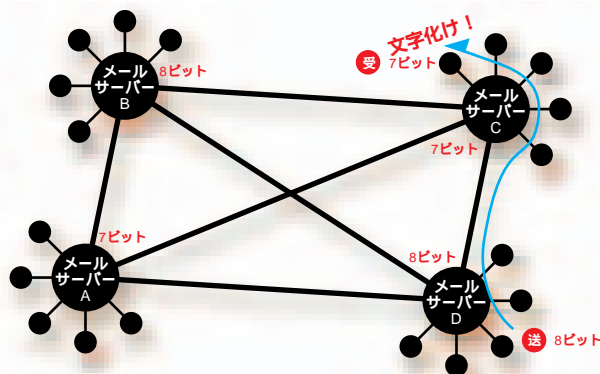


ネットスケープメールでは8ビットがMIMEという選択肢しかない。8ビットの設定は、インターネットの利用を考慮してあるのかもしれない。インターネット利用の場合はMIMEを選択しておくで安心だ。しかし、編集部で試したところ、どちらのコードで送っても変わりはない。

じるからだ。

パソコン通信などでときどき見かける半角カナや半角記号は、8ビットである。パソコン通信内では読めても、インターネットを通過すると、半角カナと半角記号以降の文が化けることがある。だから半角カナと半角記号はインターネット上では使わないようにしよう。

インターネットメールのしくみ

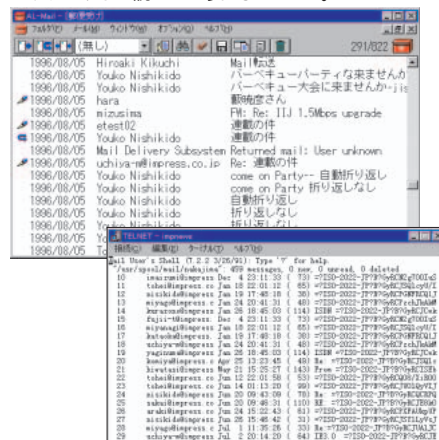


【ケース2】サブジェクトの文字化け

MIME (Multipurpose Internet Message Extensions) は電子メールの拡張定義を行っている規格で、ASCIIコード以外の文字コードのサポートを行っている。このMIMEをサポートしている電子メールソフトでは、サブジェクト(表題)で日本語が扱えるようにはなってい

る。しかし、中にはサポートしていないソフトを使っている人がいるかもしれない。そういうソフトでは、サブジェクトに日本語が使われていると、この部分だけ読めない。本文だけでなく、サブジェクトでも日本語が扱えるソフトを使っておくと便利だ。

①最近の日本語版のソフトのほとんどが日本語のサブジェクトを読めるようになっている。



【ケース3】記号の文字化け

パソコンの機種によって、文字が異なることがある。たとえばソフトJISの8784というデータで表される文字コードは、Windowsで見ると数字の1を丸で囲った文字「」であるが、

MacintoshのOsakaフォントでは日を含弧でくくった文字(日)になる。記号類はできるだけ使わないで送るか、使ったとしてもJISコードで定義されているもの(図参照)だけにしよう。

使える記号と使えない記号の例

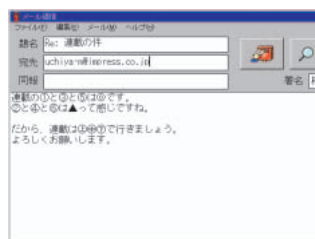
使える例

? ! ' ' " " 「 」 『 』 【 】 + - ± × ÷ = < >
¥ \$ ¢ £ % & # * @ §

〒

使えない例

mmcmknmgkgccm² ㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬㊭㊮㊯㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺



②UNIXのメールコマンドで読んでみると日本語のサブジェクトが読めない。

③Windows用のソフトAL-Mailで記号が入った文を送る。

④MacintoshのOsakaフォントを使ったEudora Proで受け取るとこう表示される。



【ケース4】改行が変!

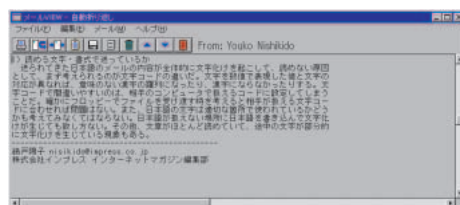
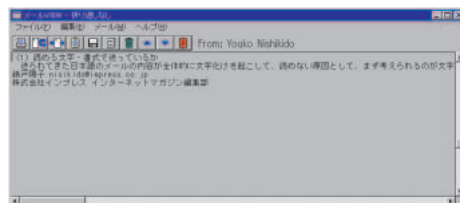
改行までの1文が長い文章を書くと、自動的にある桁数で改行して送信してくれるソフトがある。インターネットにはさまざまなメールサーバーが稼働していて、それぞれ1行の長さに独自の制限がある。大量の文書を送るとその範囲を超えた部分が欠落することもあり、1行のある桁数で折り返すことが習慣になっている。これだと実際に画面上でも読みやすく、引用しながら返信するのにも都合がいい。この自動折り返し機能がない場合は、やはり自分で改行しなくてはならない。最近では、ウィンドウサイズに合わせて文章の右端で自動的に折り返して表示してくれるソフトがあり、受信側でメールを再利用するには改行コードが入っていない分、便利だともいえるが、相手のソフトがわからない以上、改行したほうがいい。また、大量の文書を一度に送る場合は、次ページから紹介している添付機能を使ってもいいだろう。

チェックをはずす
折り返さないメール



折り返したメール
チェックする

Eudoraでは「ワードラップ」が自動折り返し機能。



⑤受け取ったメールは自動的に76行(全角で38文字)で折り返されている。インプレスグループのネットワーク管理者・池田によると、返信時などの再利用で引用記号が付加されても行が乱れないように、70桁ぐらいに抑えておくのが適当だという。これなら改行するのが当たり前のパソコン通信ネットに送っても、相手の通信画面できれいに表示されるはずだ。しかし、残念ながら、メールソフトでこのような桁数指定ができるものがない。

はみだし
1行ネチケツト

他人のメールを引用するときは本文を変えないで。

添付ファイルが開けない

e-mail

軸が送信ソフト、横軸が受信ソフトで、縦横が交わる場所に送受信後の自動復元が無事に行われた変換方式を示した。

たとえば、ユーザー数が多いと思われる Eudora-J (フリーソフトウェア / Macintosh 版) と、Eudora Pro for Windows (市販品) との間では、BinHex 方式でしかうまくいかなかった。Eudora Pro で MIME (base64) を指定して送っても、Eudora-J で受信すると復元されない。他のソフトのユーザーもこの表を見て変換方式を指定するといひだろう。

なお、表の注釈に付けたように、WeMail や tsworks、ProntoMail など、一度文字データを受信した後、メニュー操作で簡単に復元作業が行えるものもある。これならさほど苦勞はしないので成功例として扱った。

【ケース1】ファイルが自動復元されない。

画像ファイルの送受信

「基本ツール編」で、画像やプログラム、Word などで作ったファイルをメッセージに添付して送る方法を紹介したが、実際にはこれが難物だ。電子メールは文字ベースの通信手段であり画像やプログラムファイルなどをそのまま転送することはできない。

電子メールソフトの添付機能では、ファイルの意味不明の文字を羅列しただけのテキストデータに変換して送信する。これを受信ソフトのほうで受け取った時点で自動的に元のファイルに復元してくれれば使いやすい。

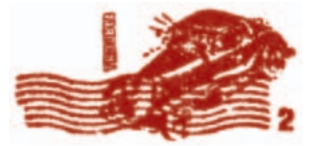
しかし、変換には MIME (base64)、uuencode、BinHex とさまざまな方式があり、各ソフトでサポートする方式はまちまちだ。送信側で MIME (base64) を指定して送っても、受信側でこれを認識できなければ、意味不明の文字が続くテキストデータのまま届くので、ここから手作業でファイルを復元しなければならない。この作業は、あとで解説するようにとて面倒だ。

今回、編集部では、14 のメールソフトで画像ファイルを添付して送り、さまざまな変換方式で自動的に復元されるかどうかの総当たり実験を行った。結果は表のとおりである。表の縦

画像ファイルが自動復元するかどうかの実験結果

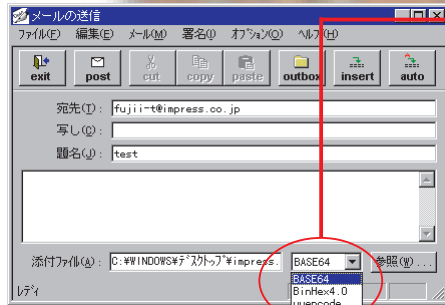
送信 \ 受信	Eudora Pro (Windows) 2.2J	Eudora Pro (Macintosh) 2.1.4J	AL-Mail 1.22	Winbiff 1.515	電信八号 1.1b2	Becky! 1.08	Microsoft Internet Mail b3
Eudora Pro 2.2J (Windows)	Base64 uuencode BinHex	Base64 uuencode BinHex	Base64 uuencode BinHex	Base64 uuencode BinHex	Base64	Base64 BinHex	Base64 uuencode
Eudora Pro 2.1.4 (Macintosh)	Apple-Double Apple-Single uuencode BinHex	Apple-Double Apple-Single uuencode BinHex	Apple-Double Apple-Single uuencode BinHex	Apple-Double Apple-Single uuencode BinHex	Apple-Double Apple-Single	Apple-Double Apple-Single BinHex	Apple-Double Apple-Single uuencode
AL-Mail 1.22	Base64 uuencode BinHex	uuencode BinHex	Base64 uuencode BinHex	Base64 uuencode BinHex	Base64	Base64 BinHex	Base64 uuencode
Winbiff 1.515	Base64 uuencode BinHex	Base64 uuencode BinHex	Base64 uuencode BinHex	Base64 uuencode BinHex	Base64	Base64 uuencode BinHex	Base64 uuencode
電信八号 1.1b2	Base64	Base64	Base64	Base64	Base64	Base64	Base64
Becky! 1.08	Base64 BinHex	Base64 BinHex	Base64	Base64	Base64	Base64 uuencode BinHex	Base64 uuencode
InternetMail b3	uuencode	uuencode	x	uuencode	x	uuencode 1	uuencode
Netscape 2.02 (Win)	Base64	Base64	Base64	Base64	x	Base64	Base64
Exchange 4	Base64	Base64	Base64	Base64	Base64	Base64	Base64
WeMail 2.0J-b	Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64	Base64	Base64 uuencode
Pronto Mail 2.0b	Base64 uuencode	uuencode	Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64	Base64 uuencode	Base64 uuencode
tsworks 2.24b	Base64	Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64	Base64	Base64	Base64 uuencode
Chameleon Mail 5.01J	Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64	Base64 uuencode 1	Base64 uuencode
Eudora1.3.8.5-J13	BinHex	BinHex	BinHex	BinHex	x	BinHex 2	x
Netscape Mail2.02 (Mac)	Base64	Base64	Base64	Base64	x	Base64	Base64

1:「ツール」メニューの「uuencode」で復元 2:「ツール」メニューの「BinHexデコード」で復元 3:「バイナリファイルとして保存 (uuencode)」で復元 4:「メッセージ」メニューの「uuencode」で復元



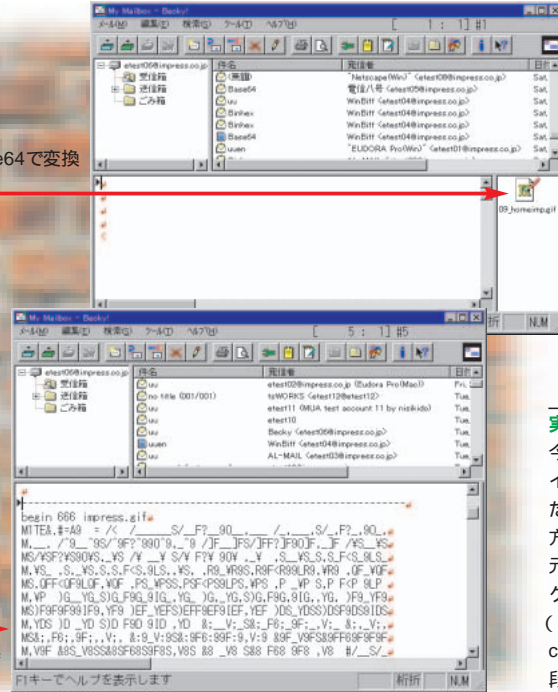
①Winbiffでimpress.gifを添付

base64で変換



uuencodeで変換

②Becky!で受信 復元されたファイルがアイコンで表示されている



uuencode変換されたまま、意味不明の文字列が並んだメッセージ

実験方法

今回はGIFファイル(1.52KB)を使って、インプレスのメールサーバーで実験してみた。メールソフトで設定できる複数の変換方式で、それぞれ送受信してファイルが復元できるかどうか試してみた。なお、マイクロソフトインターネットメールがMIME (base64)をサポートしていながらuuencode方式しか成功していないのは、この段階のベータ版ではMIME (base64)にトラブルがあったため。正式版では改善されるとのことだ。

Netscape Mail Windows 2.02	Microsoft Exchange 4	WeMail 2.0J-b	Pronto Mail 2.0b	tsworks E-Mail 2.24b	Chameleon Mail 5.01J	Eudora-J (Macintosh) 1.3.8.5-J13	Netscape Mail (Macintosh) 2.02
Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64 uuencode 3	Base64 uuencode	Base64 uuencode 4	BinHex	Base64 uuencode BinHex
Apple-Double Apple-Single uuencode	Apple-Double Apple-Single uuencode	Apple-Double Apple-Single uuencode	Apple-Double Apple-Single uuencode	Apple-Double Apple-Single uuencode	Apple-Double Apple-Single uuencode 4	BinHex	Apple-Double Apple-Single uuencode BinHex
Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64 uuencode 3	Base64 uuencode	Base64 uuencode 4	BinHex	Base64 uuencode BinHex
x	Base64	Base64 uuencode	Base64 uuencode 3	Base64	Base64 uuencode 4	BinHex	Base64 BinHex
Base64	Base64	Base64	Base64	Base64	Base64	x	Base64
Base64	Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64 uuencode 3	Base64	Base64 uuencode 4	BinHex	Base64 BinHex
uuencode	uuencode	uuencode	uuencode 3	uuencode	uuencode 4	x	uuencode
Base64	Base64	Base64	Base64	Base64	x	x	Base64
Base64	Base64	Base64	Base64	Base64	Base64	x	Base64
Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64 uuencode 3	Base64 uuencode	Base64 uuencode 4	x	Base64 uuencode
Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64 uuencode 4	x	Base64 uuencode
Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64 uuencode 3	Base64 uuencode	Base64 uuencode 4	x	Base64 uuencode
Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64 uuencode	Base64 uuencode 3	Base64 uuencode	Base64 uuencode 4	x	Base64 uuencode
x	x	x	x	x	x	BinHex	x
Base64	Base64	Base64	Base64	Base64	x	x	Base64

データを手作業で変換する

画像ファイルが自動的に復元されず、文字データで受信してしまった場合は、手作業で画像ファイルに戻さなくてはならない。まず、電子メールをテキストファイルとして保存し、観察してみよう。

図のように、begin、endで文字データが囲まれていたら、uuencode形式だろう。これは、uuencode形式の復元ツールを使う。WindowsならUDEEC、uudx、Wincodeがuuencode形式をサポートする。MacintoshではUULite、uuUndoがあるが、ファイル名の後ろに「.uu」を付けるとStuffit Expanderでも開くことができる(右ページの表参照)。

電子メールにbegin、endがなく、baseという語を見つけたら、MIME (base64) 形式だ。MIMEではbase64という形式で変換されている。base64は、uuencodeと同じように画像ファイルなどのバイナリーデータ3ビットを4つのキャラクターに変換する。しかし、uuencodeはいくつものバージョンがあり、うまく動作しないこともある。その点、MIME (base64) ではほぼ統一されている。MIMEは多くの電子メールソフトに組み込まれているほか、ユーティリティではWindows、Macintoshの両バージョンの揃ったmpackや、uuencodeもサポートするWindowsのWincode、UDEECを使うことができる。

そのほか、Macintoshユーザーから送られてくる場合、BinHex形式がある。これは、文字データの中にBinHexという文字が入っている。WindowsでもUDEECやBinHexというユーティリティを使えば扱うことができ、MacintoshならStuffit Expanderなどの圧縮展開ツールでサポートしている。

異なる機種でもサポートされる互換性と安定性で、MIMEのbase64形式は増えていくと思われる。

uuencode

.uu または .uue で保存する

```
begin 644 sample.gif
M1TES__^[.....¥S,S/^9S)G,S+N[N_^9
:
M!91^8FEC.....J-A7T*:PZ/_:TI!B¥1<
end
```

MIME(base64)

(適当なファイル名)で保存する。
拡張子はいらない

This is a MIME encoded message. Decode it with "munpack"
or any other MIME reading software. Mpack/munpack is available
via anonymous FTP in ftp.andrew.cmu.edu:pub/mpack/

```
Content-Type: image/gif; name= " mi-globe.gif "
Content-Transfer-Encoding: base64
Content-Disposition: inline; filename= " mi-globe.gif "
Content-MD5: z4Dt0YkrDRbthKRM1z3B7Q==
```

```
R0IGODdhGA.....EYAdUAAP///8
```

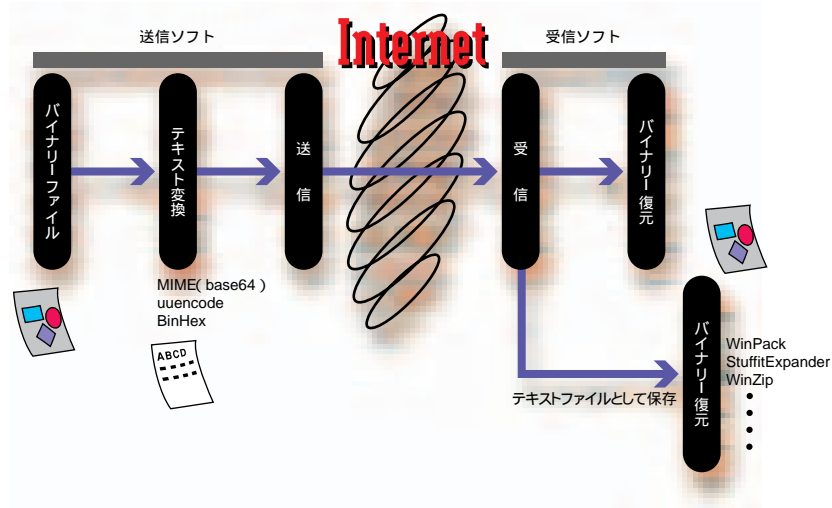
BinHex

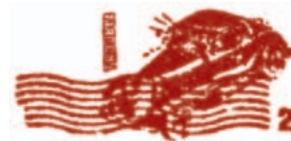
.hqxで保存する。

(This file must be converted with BinHex 4.0)

```
:$ ' eT, @GXef*P,QGTCJ " (58CQ5PCA8J%!!! " @Y3!!!!#6S8G*4MJhB4J "' !(9!!$
rrrr-rrrZIZIGhGhrc-c-2r-c-crQFbCc-bIZI[rQCQUUUUV-QCQCQFbCQCRCQCTP
QQCQ)L)M2CQDCCTPhGhIr-fDCCQCQCTR--fCQCQE1-c-cCTQC-fB[CQC999Ar!$1
C-c0Q-fC%4%6-!$2G!! " Q-c2-!!!c-fD!!!#C!$-c-c1U!!!#C!!!c-!-fD)!!!
```

添付ファイルの送受信の流れ





【ケース2】データが分割されてきた

意味不明の文字データに変換しても、データが大きければ、複数の小さなサイズに分割して送られる。電子メールのサイズが大きいと、通信時に障害が発生してデータを再送信するなど、メールサーバーに負担をかけてしまうからだ。自動的に50Kバイト単位ぐらいで分割されて送られることが多い。分割されてしまったファイルは当然ながら、そのまま画像ファイルを自動復元することはできない。

複数の分割されたファイルには、図のように順番がわかるようなコメントが付いている。beginが書かれた行以前やendが書かれた行以降は無視されるが、分割された場合、よい行が追加されていることがある。右の図では「CUT HERE」などと書かれた切り取り箇所が指定される。テキストエディターを使ってこの部分で囲まれた範囲を残して削除し、複数のファイルを順番に結合させる。拡張子はuuencodeなら.uu、またはuue、BinHexなら.hqxと指定する。MIME (base64) なら適当なファイル名で保存すればいい。

分割されている

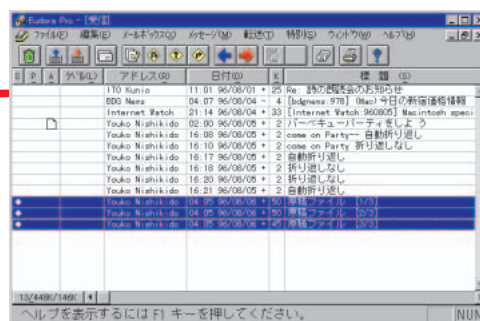
破線部分を削除してつなげる。

```
[Section: 1/2 File: sample.gif UULite v1.7]
[Original File Size: 22197]

BEGIN-----cut here-----CUT HERE-----PART 01/02
begin 644 sample.gif
M1TES__^[....._¥S,S/^9S)G,S+N[N_^9
:
M!91^8FEC.....J-A7T*:PZ/_:T!B¥1<
END-----cut here-----CUT HERE-----PART 01/02
```

●分割の順番が書いてある。

●Eudora Proでは、分割されて送られてきても、受信メール一覧からシフトキーで範囲選択し、「ファイル」の「保存」を選べば、1つのテキストファイルに保存できる。ここでuuencodeなら*.uuとファイル名を指定すればいい。



本誌付録CD-ROMに収録している変換・解凍ツールとその機能

対応OS	ファイル名	収録フォルダー	おもな対応形式 (拡張子で表記)	提供元 (敬称略)
DOS	gzip (Ver.1.2.4)	WIN GZIP	gz, z	GNU
Windows	Lhasa (Ver.0.08)	WIN LHASA	lzhとzip	竹村嘉人
Windows	UDEC (Ver.1.1)	WIN UDEC	uue, base64, hqx	Peter Liebel
DOS	UnZip (Ver.5.12)	WIN UNZIP	zip	Info-ZIP Group
Windows	Wincode (Ver.2.61)	WIN WINCODE	uu, base64	George H.Silva
Windows	WinZip (Ver.6.1)	WIN WINZIP	zip	Nico Mak
DOS	Zip (Ver.2.0.1)	WIN ZIP	zip	Info-ZIP group
Windows	WinPack	Win Winpack	zip, lzh, uu, uue, tar, gz	AshSoft
DOS	BinHex (Ver.1.3)	WIN BINHEX	hqx	Minnesota大
DOS	kmtr (Ver.2.01)	WIN KMTAR	tar	森公一郎
DOS	LHa (Ver.2.13, 2.55b)	WIN LHA	lzh	吉崎栄泰
DOS	mpack (Ver.1.5)	WIN MPACK	base64	John G. Myers
DOS	uudx (Ver.2.99)	WIN UUDX	uue	AssistantIO
Macintosh	DeHqx (Ver.2.0.1)	Mac DeHqx	hqx	Peter Lewis
Macintosh	MacGzip (Ver.1.0b1 gzip 1.2.4)	Mac MacGzip	gz, z	GNU
Macintosh	MacLsh (Ver.0.72.2)	Mac MacLsh	ish, hqx	aka
Macintosh	MacLHA (Ver.2.14)	Mac MacLHA	lzh	石崎一明
Macintosh	Stuffit Expander (Ver.4.0.1)	Mac Stuffit Expander	zip, sit, cpt, uu, gz, z	Alladin Systems
Macintosh	suntar (Ver.2.0.5)	Mac suntar	tar	Sauro Speranza
Macintosh	Tar for Macintosh (Ver.4.0b)	Mac tar	tar	Craig Ruff
Macintosh	uuUndo (Ver.1.0b5)	Mac uuUndo	uu, uue	Aaron Giles
Macintosh	Mpack (Ver.1.5)	Mac Mpack	base64	John G. Myers
UNIX	gzip (V1.2.4)	unix/gzip	gz, z	GNU
UNIX	ish (UNIX 201a3)	unix/ish	ish	aka@MIXCOSYほか
UNIX	lha (Ver.1.1.4a)	unix/lha	lzh	綿崎修隆ほか
UNIX	UnZip (Ver.5.12)	unix/unzip	zip	Info-ZIP group

注) MIME (base64) は拡張子の決まりがないのでbase64と記載した。

【ケース3】ファイルが圧縮されている

電子メールで送られてきた画像は、無事に復元できただろうか。JPEGやGIFなどのデータがそのまま送られてきた場合は、グラフィックソフトで読み込んですぐに利用できるだろう。

しかし、多くの場合は、通信効率を上げるために複数のファイルが1つにまとめられていたり（アーカイブ）、データ圧縮されていたりする。どんな圧縮ファイルになっているかは、ファイルが復元できた時点で、ファイル名の拡張子を見て判断する。

データの圧縮だけ行われるものには、拡張子「.Z」のcompress形式、「.gz」のgzip形式がある。WindowsはWinZip、MacintoshはStuffIt

Expanderを使えば元のファイルに戻せる。

圧縮ファイルを解凍してみると、そのファイルがまた別の形式のアーカイブになっていて、続けてファイル取り出す処理を行わなければならないものがある。この形式で使われるのがUNIXで普及するアーカイブ形式の「.tar」で、Windowsはkmtar、WinZipやWinpack、Macintoshはsuntar、Tar for Macintoshで処理できる。

データ圧縮とアーカイブ機能の両方を備えた形式はいくつもの形式が普及している。「.zip」はzip形式、「.lzh」はLHA形式、「.sit」はStuffIt形式の圧縮/アーカイブファイルでWindows、

Macintoshの両環境で利用されている。

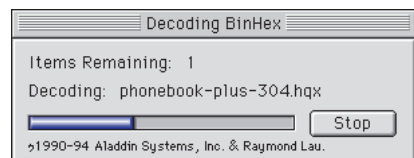
これらのアーカイブは、自己解凍形式の圧縮ファイルになっていることもある。これは、解凍のために他のソフトを使わなくても、起動させると自動的に解凍する。特別なユーティリティーがなくてもすむ反面、機種に適合した実行形式でないとまったく動作しない。さらに、どのアーカイブソフトも、ファイル名の拡張子がWindowsでは「.exe」、Macintoshでは「.sea」とすることが多く、データ部分だけをユーティリティーソフトで復元しようと試みても形式が拡張子から判断できない。電子メールを送る相手の環境がわからなかったり、WindowsとMacintoshの間でやりとりするような場合は、自己解凍形式では送らないことだ。

必携ツール

どんな形式でもらっても元のファイルにもどすスグレモノ！

StuffIt Expander

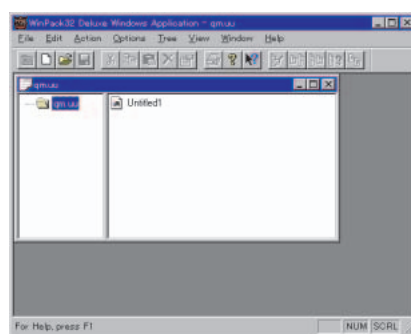
.cptや.sitなどMacintoshのさまざまな圧縮形式に対応し、展開・変換してくれるツール。BinHex(.hqx)やuuencode(.uu)などのファイルにも対応しているのでMacintoshを使っているインターネット利用者はこれさえ持っていれば安心だ。



①使い方はStuffIt Expanderのアイコンに、ファイルのアイコンを重ねるだけ。

WinPack

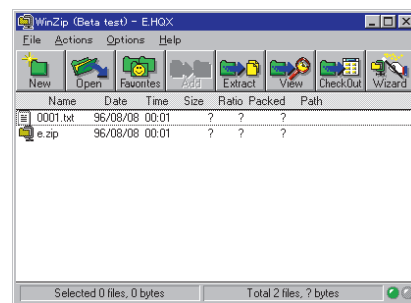
マウスでWinPackのウィンドウにファイルのアイコンを持っていくだけの簡単な操作で、uuencode、BinHex、MIME(base64)のテキストデータから元のファイルを復元する。さらにzipやlzhなどのよく使われているアーカイブも展開・解凍する万能ツールだ。



Winzip

zip形式のファイルにマウスポインターを置いてダブルクリックするとWinzipが起動して解凍できる。また、今月のCD-ROMに入っているバージョンではないが、次の6.1AでuuencodeやBinHexなどからのファイル復元をサポートした。

URL <http://www.winzip.com/>



e-mail
TOOL

TROUBLESHOOTING

TROUBLESHOOTING

社内メールシステムから
インターネットへ送るメールはトラブルが多い？

LAN環境で使われる電子メールシステムに cc:Mail や QuickMail がある。メールサーバー、ユーザー側ともにパソコンで運用する中規模の電子メール環境が構築でき、企業内電子メールに使っていることも少なくない。これらのLANメールでは、インターネットの電子メールとのゲートウェイを設け、LANメールの利用者がインターネットメールを送受信できる環境を整えることができ、このシステムを導入する組織も出てきている。

この環境で、インターネットの利用者と電子メールのやり取りをするとき、気をつけないと相互に電子メールが読めない状況になる。

まず、LANメール、および、インターネットメールへのゲートウェイソフトが日本語に対応していなければならない。LANメールのユーザー側ソフトは、特定の機種しか想定していない環境での動作に限定されるため、MIMEをサポートせず、複数の文字コードも

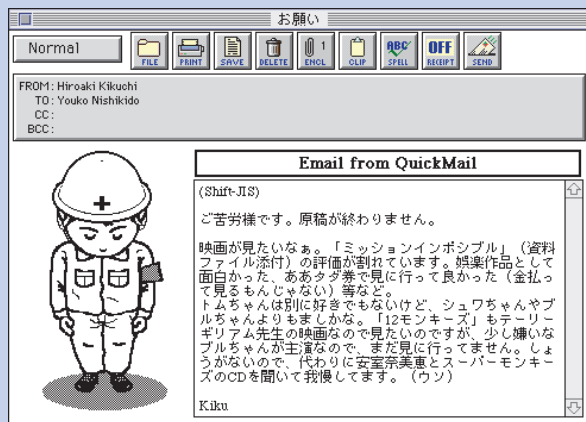
サポートしていないだろう。多くはシフトJISでの入力と表示をサポートしているにすぎない。日本語対応版では、サブジェクトでMIMEをサポートしたり、インターネット上のメールサーバーへシフトJIS以外の文字コードで通信を行う機能を備える。添付ファイルの処理もソフトによりまちまちだ。

QuickMailはゲートウェイソフト「Mail*Link SMTP-QM 4.0.0」が英語版のままでもシフトJISは通過できる。従って、LANから、インターネットのユーザーにメールを送るにもシフトJISなら読むことはできる。逆の場合、送信側でシフトJISの文字コードでテキストを送れば、QuickMailのユーザーも読むことはできる。ただし、QuickMailの書式によっては本文に日本語フォントを指定してないことがあり、日本語フォントに切り替えれば読むことができるが、送り手と受け手のコードが異なると文字化けが生じ

るだろう。また、QuickMailからインターネットへ送った添付ファイルは必ずBinHex形式に変換される。Eudora Proならば、Windowsでも自動的に復元してくれるだろう。逆に、インターネットからQuickMailへ送信するときuuencodeで変換したファイルは、QuickMailの添付ファイルとなる。

cc:Mailはゲートウェイソフトとして、「cc:Mail Link to SMTP R2.1日本語対応版」が使える、サブジェクトに対してMIMEがサポートされている。メッセージボディにはMIMEはサポートしていないが、JIS7、EUCとのコード変換はサポートする。添付ファイルもuuencode以外にMacintoshのBinHex形式やAppleSingle形式で扱うことができる。

どちらも文字コードや変換方式の設定が通常と違うので若干の問題があり、送信側が一般形式に合わせる注意が必要になる。



①社内メールシステム「Quick Mail」からインターネットへ送信



②本文と添付ファイルが届いた

メールが手放せなくなったら この機能を使おう

確実にメッセージやファイルがやりとりできるようになったら、電子メールを使うケースはあなたの生活や仕事の現場でどんどん増えていくだろう。そうすると、あんなこともしたい、こんなこともしたいという欲求が出てくるはずだ。最後に、電子メールをさらに使いやすくする方法を紹介しよう。

大量のメールを効率よく読む

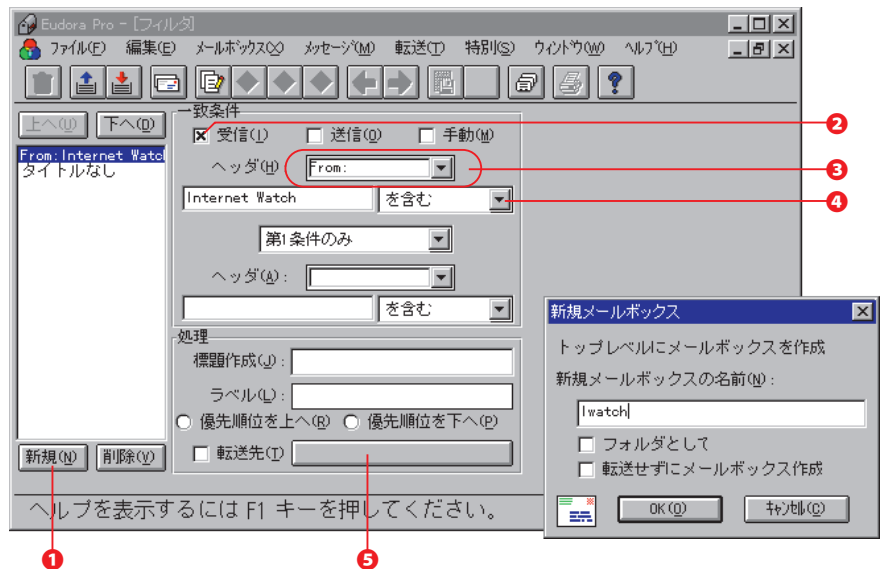
メールが日に数十通も送られてくると、読むだけでも多くの時間を費やす。緊急度の高いメールは急いで返信を書きたいし、ニュースレターなら後日まとめて読めばすむ。効率よく仕事をするには、メールを効率よく管理することが必要だ。Eudora Proには、着信したメールを条件によってフォルダごとに分け、さらにラベル付け、優先順位の変更が自動的に行える機能「メッセージフィルタ」が付いている。

Windows版では「ツール」メニュー（Macintosh版は「ウィンドウ」メニュー）の「フィルタ」を選択すると、メッセージフィルタの設定画面になる。はじめに、新規ボタンで振り分けの条件を設定し、いつ作動させるかを設定する。「メールの受信時自動的に」「メールの送信時自動的に」「手動で特別メニューのメッセージのフィルタを選んだとき」の中から選ぶ。

続いて、ヘッダー欄のポップメニューから「To」「Cc」「From」「サブジェクト」「Reply-To」「ヘッダのいずれか」「本文」を選び、次に入れるキーワードと関連する項目を指定する。次の欄にはキーワード文字列を入れ、条件を指定する。条件にはキーワードを「含む」「含まない」「完全一致」「～で始まる」「～で終わる」「～のニックネームに含まれる」などがある。さらに複合条件を1つだけ追加でき、AND/ORなどが指定できる。そして最後に「標準を変更」「ラベル付け」「優先度の変更」「フォルダへの分類」が行える。

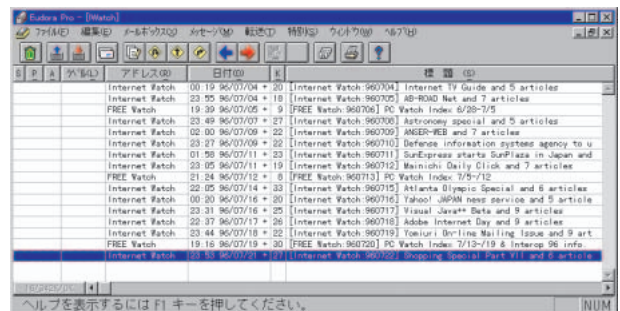
ここでは、電子メールでインターネットの最新情報を毎日配送するニュースレター「Inter-

① Eudora Pro for Windowsでメッセージフィルタ設定



- ① ツールメニューの「フィルタ」を選び、この画面が出たら新規ボタンをクリックする。
- ② 受信後、自動的に振り分けするように「受信」をチェックする。
- ③ ヘッダはFrom行に。
- ④ Internet Watchを含む場合を指定する。
- ⑤ 転送先を指定する。新規をクリックしてIWatchというフォルダを新たに作る。

- ⑥ これでInternet WatchからのメールがくるとIWatchというフォルダに自動的に入る。





net Watch」を着信時に特定フォルダーに仕分けする設定をしていこう。フォルダー「lwatch」に集めておくなら、「受信」時、ヘッダ「From:」が「Internet Watch」「を含む項目」を条件に設定し、分類先にフォルダー「lwatch」を指定すればよい。すると、差出人がInternet Watchであるメールが受信されると、自動的に

lwatchに仕分けられる。すでに受信しているメッセージを分類させるならば、メッセージフィルター設定時の一致条件に「手動」を加えておき、検索対象となるメッセージをマウスで選んでから、「特別」メニューの「メッセージのフィルタ」を選ぶとフィルタリングが開始する。

このメッセージフィルタをうまく使うと、日

常に送られてくる決まった差出人からのメールが仕分けられ、緊急度の高いキーワードが含まれるメールのリスト表示に色を付けることもできる。その結果、フォルダーを選択して効率よくメールを読むことができるようになる。

STEP UP

複数のメールアカウントを使い分ける

会社で仕事に使うメールアカウントと個人でプロバイダーから取得したメールアカウントというように、複数のアカウントを持つ利用者が増えている。

通常、電子メールソフトは一つのメールアカウントをサポートしており、複数のアカウントを同じソフトで使うには、設定を書き換えなければならない。

Eudora Proの場合

たとえば、Eudora Proのマニュアルでは、設定ファイルを操作することで1台のパソコンを複数の利用者で共有することができる方法を説明している。この方法では、メールアカウントごとにフォルダー環境も異なってしまう。メールアカウントごとにフォルダーやニックネームを区別したいのならば、この方法を参照するといい。しかし、フォルダーやニックネームのデータは共有し、アカウントのみ切り替えて使いたいこともある。

Macintosh版のEudora Proではシステムフォルダの中の「Eudora フォルダ」に「Eudora設定」ファイルが作られる。一つ目のアカウントの設定後いったんEudora Proを終了させ、先の「Eudora設定」ファイルをコピーし、別名を付ける。再度、Eudora Proを起動し、次の設定を行い、同じように独自の名前の「Eudora 設定」ファイルを作る。個々の設定で動作させるときは、それぞれの「Eudora 設定」ファイルをダブルクリックで起動すればよい。そのフォルダから「Eudora 設定」ファイルを移動させられないが、そのエイリアスファイルを作成し、使いやすい場所に配置すればよい。アカウントを切り替えるためには、Eudo-

raProを終了させるが、マウス操作で切り替えが可能だ。

Windows95版でも似た操作ができる。Eudora Proを組み込んだフォルダーに置かれた「Eudora.ini」にアカウントの設定が書き込まれている。このファイルを別名でコピーする。そのファイルのメールアカウントに関連する項目SMTPServer、POPAccount、ReturnAddress、DomainQualifierをテキストエディタで編集する。作った設定ファイルをEudora32.exeにドロップすれば、その設定で起動される。さらにEudora Proのショートカットを作成し、プロパティのリンク先（Eudora Proを指定してある）に作った設定ファイルを追加すると、ショートカットをダブルクリックするだけで起動できる。

複数アカウントが設定できるソフト

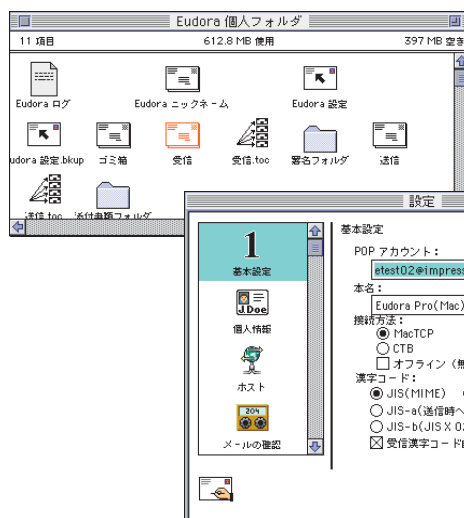
アカウントを切り替えるたびに電子メールソフトを起動するのが面倒ならば、複数のメール

アカウントをサポートするソフトがいくつかあるので使いたい（174ページの表参照）。Windows用のBecky!は、10のメールアカウントを切り替えられる。

メールの転送サービス

複数のメールアカウントをもっている状況は、所属組織が変わったり、プロバイダーを変更したりするときにも生じる。この場合、それぞれのメールアカウントにアクセスするのは本意ではなく、1つのメールアカウントですべてのメールアカウントに届いた電子メールを読むのが望ましいだろう。

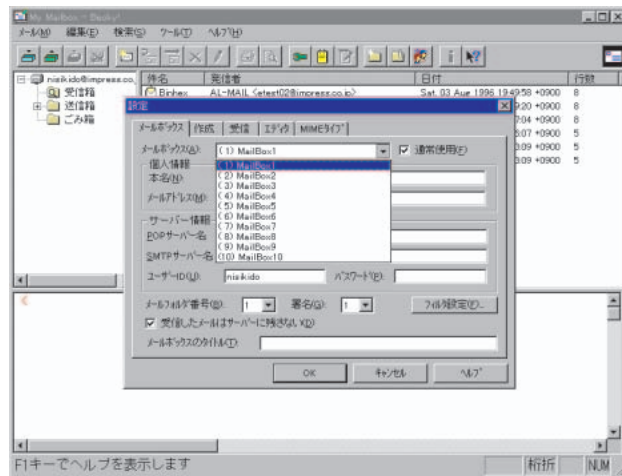
主となるメールアカウントを決め、そこへ他のメールアカウントに届いたメールを転送（フォワード）させる方法が考えられる。メールサーバーがUNIXマシンでログイン可能ならば、ホームディレクトリーに「.forward」というファイルを作成し、転送先のメールアドレスを記述しておく。すると、そのメールアカウントに届



① システムフォルダ内のEudora Proのフォルダーをコピーして別名に変える。

② 中の設定ファイルを取り出し、新たに設定する。

いたメールが指定したアドレスに転送されるようになる。別の方法なら、プロバイダーを変更しても変わることのないメールアドレスを取得するのはどうだろう。実際には、メールアドレスを提供され、そこへメールが届くと、利用者が登録したメールアドレスに転送するサービスだ。いくつかの組織、企業でこのサービスを開始している。たとえば、Internet Consultants Group社 (<http://www.pobox.com/>) は XXX@pobox.com というアドレスを月額15ドルで提供し、Post Bank社 (<http://www.post.co.jp/>) からはアドレスXXX@post.co.jpを月額2000円(初期費用+1000円)で取得できる。NTT PCコミュニケーションズ社も「メールUNO!」というサービス名で97年の有料サービス開始を目指している。



●10個のメールアカウントを管理できるBecky!

ここでメールボックスを選び、新たなメールサーバーを設定していく。設定後は、「ツール」メニューから「アカウントの切り替え」を選べば切り替え自由自在。

Cc、Bccを目的別に使う

電子メールの宛先を指定する欄にはTo、Cc、Bccがある。どれも宛先を指定する欄だが、伝わる内容が若干変わる。手書きの手紙と違い、電子メールはデジタルデータであるため、オリジナルと複写の品質的な差はない。そこで、宛先の指定で、送り先に電子メールの重要性を示すことができる。

Toは正規の宛先を指定する。メッセージを

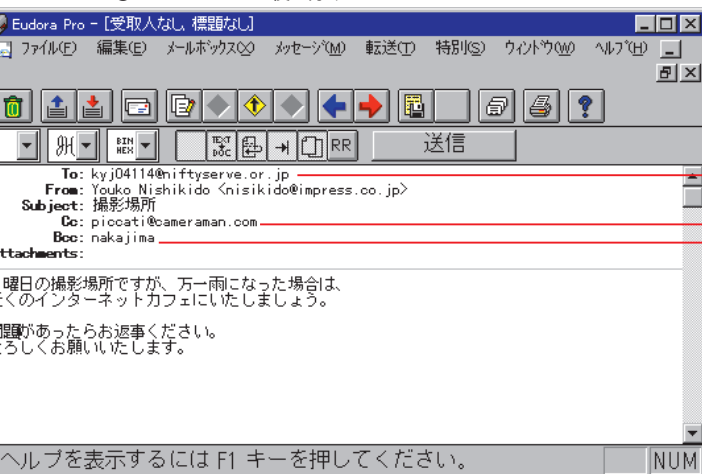
届けたい主たる相手に対しては、To欄で指定するのがマナーだ。メール内で返答を求められたら、To欄で指定した人に対して問いかけられているものと思っていいだろう。

Ccはカーボンコピーのことで、複写の送り先を指定する。電子メールをToで指定した人に送ったことを連絡する必要があるときなどに使う。手紙でいえば、内容のコピーを渡せばすむ

相手を指定する。たとえば、ビジネスで客先にメールを出すときに、その相手はToで指定し、送った内容を記録として保存するために、自分と、組織外に送ったメールの内容を報告する意味で上司をCcで指定することはよくある。Ccで指定されたメールを受け取ったならば、差出人はToで指定された人に向けて内容を書いていることを認識し、無用な返答をしないようにする。もし、あなたに対しても意見を求めているのなら、Toで指定してくるだろう。Bccは、ブラインドカーボンコピーだ。これに指定して送られたメールはCcに指定されて送られたようにみえる。しかし、Ccで指定されると、指定された宛先がメールに記述され、送られた先が確認できるが、Bccでは、メールに表示されないのだから。つまり、ToやCcに指定した人に知られないようにこっそりと送るメールの相手を指定するときに使う。

それぞれ複数の利用者を指定するには、通常は半角の「,」で区切って続けて記述すればいい。マイクロソフトエクステンションは特殊で「;」で指定するようになっている。To / Cc / Bccは目的によって使い分ける。そのため、Toに1人、Ccに10人というメールも、Toに10人、Ccに1人というメールも存在している。

●To / CC / Bccの使い分け



●本当の宛先
●目を通しておいてほしい相手
●実はこの人にもこっそりメール送る

●明日の撮影場所ですが、万一雨になった場合は、多くのインターネットカフェにいらしましょう。
●問題があったらお返事ください。
●よろしくお願ひいたします。



メーリングリストを作る

STEP UP

メーリングリストは、電子メールを使って多対多でコミュニケーションするシステムだ。同じ趣味や共通の話題をもつ人々が集まり、会員制で情報交換するのに使われている。どこか面白いメーリングリストはないかと探している人は、メーリングリスト情報のYahoo!を目指しているという個人ページ (<http://www.ijinet.or.jp/IJ-MC/odajima/ml/ML-LINKS/>)に行ってみよう。入会したいメーリングリストが見つかるかもしれない。

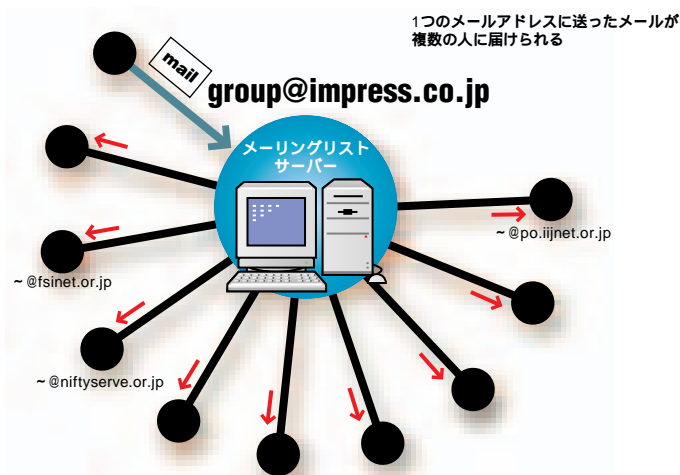
しかし、既存のメーリングリストに入会したいというニーズ以上に、仕事の打ち合わせや旧友との情報交換用に、メーリングリストを「作りたい」というニーズも高いだろう。

それでは、自分でメーリングリストを作りたい場合はどうするか。普通にやろうとすると、複数のメールを受けて会員に配信するためのメーリングリストサーバーを自分で用意しなければならない(図参照)。さらに、24時間メールを受け付け、会員のメンテナンスをして管理をしていくにはそれだけのコストと時間、サーバー運用の知識が必要になるだろう。しかし、最近は、ダイヤルアップユーザー向けに、安い価格でメーリングリストを作ってくれるレンタルメーリングリストサーバーサービスをプロバイダーが用意している。いくつか表にあげたが、公式にアナウンスしていなくても、相談すれば応じてくれる場合があるので、プロバイダーに問い合わせてみよう。

このほか、前ページで紹介しているメールの転送サービス「メールUNO!」でもメーリングリストを受け付けている。メールUNO!で取得したアドレスにメールを送ると、あらかじめ設定したユーザーリストの登録者に配信されるしくみだ。リストの書き換えも主催者側で自由にできるようになっている。(メールUNO!の問い合わせは電子メールinterop96@uno.infosphere.or.jp)

ダイヤルアップユーザー向けメーリングリストサービス一覧(7月末現在で編集部が知り得たものからピックアップ)				
プロバイダー名	料 金		申込方法	備考
	初期費用	利用料金		
ASAHIネット	2,000円	800円(月)	ASAHIネットBBSで申し込む	定員100名(追加可) アーカイブ10MBにつき500円/月
AsakaNet	5,000円	1,000円(月)	申込用紙を郵送	
at-m インターネットサービス	3,000円	500円(月)	サポートへ連絡	5つまで、ディスクスペース1Mにつき100円/月(20Mまで)
CATNET	0円	10,000円(年)	サポートへ連絡	1つまで、定員50名 (定員の追加は100名ごと)
IJ	5,000円	1,000円(月)	申込用紙を郵送	オプション(メールのアーカイブ等)500円~
MediaWeb	3,000円	1,000円(月)	メールで連絡	
root net	0円	5,000円(年)	サポートへ連絡	
SANNET	3,000円	1,000円(月)	メールで連絡し、 その後は個別対応	
SURF NET	2,000円	1,000円(月)	サポートへ連絡	
-Web	0円	1,000円(月)	サポートへ連絡	Majordomo使用
インターネットラテラ	5,000円	1,000円(月)	入会時に申し込む。 またはメール	
ユーレカネット	3,000円	6,000円(年)	サポートへ連絡	1年契約
東国インターネット	-	-	個別対応	
藤沢インターネット	0円	0円	ホームページから 申し込む。	sendmailのaliasを利用するタイプ

メーリングリストのしくみ



e-mail

e-mail

[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレス R&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社**インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp